

地区ニュース 第4号

明るい未来へ

知性 奉仕

千葉

ライオンズクラブ

友愛 変化

単県独立30周年



宇宙へかける

青少年の夢



We Serve

記念講演

山崎直子

JAXA 宇宙飛行士

第57回年次大会（4月24日）

記念講演会は東日本大震災のため中止決定

単県独立30周年の幻の記念ポスター（JAXA提供）



ライオンズクラブ国際協会 333-C地区（千葉県）



ライオンズクラブ国際協会333-C地区

単県独立30年の歴史を辿る

歴代ガバナー&アクティビティスローガン

年 度	地 区	地区ガバナー	アクティビティスローガン
1967-1968	302-E7	薮田 至孝 (市川)	交通の災禍を絶とう愛の手で
1972-1973	〃	榎 智光 (千葉)	明るく伸ばそう若人の芽
1976-1977	333-B	加藤 元彦 (船橋) →斎藤 貞雄 (船橋)	調和と心で明るい社会
1979-1980	〃	杉浦 明 (君津)	愛と奉仕で世界の仲間
1981-1982	333-C	式場優文夫 (市川) →吉原 稔人 (市川)	豊かさで知性で創るコミュニティ
1982-1983	〃	藤田 定男 (習志野)	愛の手で幸福の明日を
1983-1984	〃	石橋 光 (千葉中央)	愛と知性で日に日に奉仕
1984-1985	〃	秋場 寛 (上総一宮)	愛の心で価値ある奉仕
1985-1986	〃	橋口 一夫 (銚子)	奉仕で結ぼう心のきずな
1986-1987	〃	平井 勇 (館山)	世界を結ぶまごころ奉仕
1987-1988	〃	手塚 勇 (富津)	愛と奉仕で平和な世界
1988-1989	〃	小泉 昭 (船橋)	高めよう 心豊かに L字の誇り
1989-1990	〃	寺嶋 周三 (柏)	育てよう 緑の大地 住みよい環境
1990-1991	〃	長島 彪 (佐原)	広げよう 愛の奉仕と緑の輪
1991-1992	〃	吉田 政勝 (習志野)	友情の絆で広げるまごころ奉仕
1992-1993	〃	矢田 常吉 (千葉中央)	知性豊かに 日に日に精進
1993-1994	〃	松丸善次郎 (下総中山)	愛と知性で まごころ奉仕
1994-1995	〃	江畑 耕作 (旭)	広げよう 価値ある奉仕とL字の仲間
1995-1996	〃	林 静誠 (船橋中央)	響かそう 世界へライオンズの鐘
1996-1997	〃	浮谷 俊行 (松戸)	みんなで展開しよう! 奉仕の創造!
1997-1998	〃	飯塚 一郎 (成田)	広げよう 豊かな知性で まごころ奉仕
1998-1999	〃	笹本 瞭 (市川東)	高めよう 愛と知性と心で奉仕
1999-2000	〃	岡野 正義 (千葉)	友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため
2000-2001	〃	木下 務 (船橋)	夢とロマンのトキメキ奉仕 次代へ継ごうL字の誇り
2001-2002	〃	後藤 隆一 (柏中央)	心で照らす奉仕の光
2002-2003	〃	飯塚 信一 (成田)	友愛と 知性で広げる 奉仕の輪
2003-2004	〃	内田 千尋 (浦安)	21世紀 弾む心で 共に励もう 愛ある奉仕
2004-2005	〃	林 護 (松戸)	大樹も一根一毛より生命を得る ～共生の智は奉仕の魂
2005-2006	〃	皆川 春安 (流山)	愛に始まる楽しい奉仕ーみんなが和ー
2006-2007	〃	霜 礼次郎 (千葉)	オンリーワン・ナンバーワン、奉仕の心は日本から
2007-2008	〃	小西 宗仁 (船橋)	簡朴と礼容に心して 世界に示そう奉仕の美学
2008-2009	〃	塚田 雅二 (佐倉)	広げよう 世界平和と 愛ある奉仕
2009-2010	〃	高田 浩 (柏グリーン)	前進 さらなる飛躍へ 弾む心でウイサーブ
2010-2011	〃	竹下 徳永 (市原南)	明るい未来へ ライオンズ ルネッサンス ー知性・奉仕・友愛・変化ー

INDEX



■題字:飯高 和子

書道家

千葉県市原市出身

千葉県立千葉高等学校卒

千葉大学教育学部卒

元千葉県立高等学校教諭

元市原市教育委員

所属会派

(財)毎日書道界審査会員

(財)書道芸術院理事

師匠 種谷 扇舟

市原コスモスライオンズクラブ所属



■写真提供■

・NASA ・JAXA

・第57回地区年次大会

実行委員会

歴代ガバナー&アクティビティスローガン
目次・表紙の写真・題字の作者紹介

333-C地区ガバナー

地区ガバナーエレクト

第1副地区ガバナー

第2副地区ガバナー

市原かずさLC 認証状伝達式

市川フロンティアローズシニアLC結成式

君津プラチナLC 認証状伝達式

成田エアポートLC CN15周年記念式典

柏中央LC 結成35周年記念式典

市原南LC 結成45周年記念例会

富津LC 結成45周年記念例会

旭LC 結成45周年記念式典

君津中央LC CN40周年記念式典

千葉エコーLC CN45周年記念例会

船橋LC CN50周年記念例会

柏みどりLC 結成10周年記念例会

栗原LC

地区EXT・会員維持委員会

地区ライオンズクエスト委員会

地区献血・献眼・献腎推進委員会

レオクラブ海外研修

地区IT・ALERT委員会

リジョン・チェアパーソン今年度の活動報告

1R RC L 杉沢 秀一

3R RC L 小田部 光子

4-A R RC L 志村 光永

4-B R RC L 矢崎 勝彦

5R RC L 岩沼 忠伺

6R RC L 山本 真巳

7R RC L 池田 忠宏

8R RC L 栗田 秀美

9R RC L 早川 金光

10R RC L 渡邊 正雄

「女性支援対策本部」立ち上げ報告

単独独立30周年記念論文入賞作品

明るい未来のために ー新しいクラブづくりをー

ライオンズクラブの明日を考える「私達の目的は何か」

ライオンズの明日を考える

ライオンズの明日を考える

ライオンズクラブの明日を考える

ライオンズクラブの明日を考える

45年の在籍を顧みて

ライオンズクラブの明日を考える

クラブ活動報告

市川LC (1R1Z)

行徳LC (1R2Z)

行徳ベイLC (1R2Z)

松戸南LC (2R1Z)

流山シニアLC (2R2Z)

柏LC (3R1Z)

柏さくらLC (3R1Z)

柏創生LC (3R2Z)

船橋LC (4-A R1Z)

船橋シニアLC (4-A R2Z)

白井あすなろLC (4-B R1Z)

八千代LC (4-B R2Z)

千葉京葉LC (5R2Z)

千葉ゆうきのLC (5R2Z)

市原グリーンLC (5R3Z)

市原いちようLC (5R3Z)

富里LC (6R1Z)

成田エアポートLC (6R1Z)

八街LC (6R2Z)

四街道ユーアイLC (6R3Z)

佐原LC (7R1Z)

神崎LC (7R1Z)

小見川LC (7R1Z)

飯岡LC (7R3Z)

銚子ローヤルLC (7R3Z)

館山LC (9R1Z)

館山南LC (9R1Z)

白子LC (10R1Z)

幹事報告

2010年~2011年 国際会長アワード

2010年~2011年 年次大会アワード

M J F名簿

物故ライオン芳名

地区ガバナー感謝状

期首からの会員動静

編集後記

さけの稚魚放流

L 竹下 徳永

L 金井 一夫

L 長澤 千鶴子

L 正木 守

L 露崎 清美

L 高木 正平

L 萱野 孝一

L 鳩澤 敏

L 工藤 勝大

L 竹内 弘明

L 石井 三郎

L 伊東 諒

L 石井 昭男

L 新井 貞男

L 小西 宗仁

L 永岡 紀子

L 齋藤 弘毅

L 実籾 富二

L 波木 奏美

L 平山 佐吉

L 谷川 渡

L 松本 幸史

L 長澤千鶴子

L 皆川 春安

L 吉田 隆雄

L 内山 敦子

L 鈴木 利一

L 田中 稔

L 西村 和男

L 齊藤 義雄

L 中川 都弘

浦安シーサイドLC (1R2Z)

野田LC (2R2Z)

印西LC (3R1Z)

柏みどりLC (3R1Z)

船橋グリーンLC (4-A R1Z)

鎌ヶ谷飛翔LC (4-B R1Z)

千葉グリーンLC (5R1Z)

千葉ポートLC (5R2Z)

成田LC (6R1Z)

佐倉LC (6R2Z)

八街グリーンLC (6R2Z)

銚子中央LC (7R1Z)

多古LC (7R2Z)

富津LC (8R2Z)

館山中央LC (9R1Z)

夷隅LC (9R2Z)

表紙裏

1

2

4

6

8

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

79

80

82

83

84

85

86

裏表紙裏

NEW「ライオンズ文化の形成」

－ 一年間最終報告 －

333－C地区ガバナー

L竹下 徳永



1. 東日本大震災の発生

去る3月11日午後2時46分、東北沖M9.0の地震が発生しました。

・大地震・大津波・福島原子力発電所事故・放射能汚染と風評被害（農業・水産業）・地域の全産業の壊滅的被害 等々全地域、全産業、雇用等に亘り大々的な影響を与えました。

一方、C地区内の被害は、銚子・飯岡から外房一の宮・内湾の富津の漁業被害・内陸の佐原・浦安島の液状化現象による住宅への被害が発生しました。

当C地区の各ライオンズクラブは、直ちに救援活動・街頭募金・救援物資の現地搬送等に組織的に取り組んで参りました。

また、332-MD（東北）、C地区内に災害積立金より、各1,000万円、計2,000万円を支出決定しました。会員各位にも1人5,000円以上の任意のご寄付をお願いしております。

この未曾有の大震災にC地区会員は「ライオンズの誓い」を今一度かみしめたいと思います。

2. 地区年次大会中止

「東日本大震災」発生に伴い中止と致しました。前夜祭・大会式典・記念講演会等も中止となりました。（地区ニュース3号参照）

3. 地区年次大会、代議員総会開催

地区年次大会の中止により、去る5月8日（日）にホテルグリーンタワー千葉を会場として代議員総会が開催されました。（13:00～15:00）

第1号議案 次期地区ガバナーに、L金井一夫（八千代LC）が選出されました。

第2号議案 次期第1副地区ガバナーに、L長澤千鶴子（柏なの花LC）が選出されました。

第3号議案 次期第2副地区ガバナーに、L正木守（君津LC）が選出されました。

第4号議案 次年度地区会費は、原案通り承認されました。

第5号議案 前年度の会計報告及び会計監査報告は、原案通り承認されました。

第6号議案 本年度の会計中間報告及び会計監査報告は、原案通り承認されました。

第7号議案 リジョンの呼称、再編成の件は、原案通り承認されました。

第8号議案 2013～2014年度、国際第二副会長候補者のL山田實紘（元国際理事、334-B地区、じつひろ美濃加茂LC）の推薦が確認されました。

第9号議案 2011～2013年度、国際理事候補者のL高田順一（334-D地区、富山昭和LC）、L
はた つぐみ
秦従道（332-C地区、仙台コアLC）の推薦が確認されました。

第10号議案 福岡フォーラム（2012年11月8日～11日）の開催について、協力金一人につき1,300
円を2012年6月までに拠出する。同フォーラムのテーマは、「リーダーシップ」で
す。（以上、代議員総会議案集参照）



4. EXTと会員増強の現況（5月9日現在）

年度計画では、会員増強は「1クラブ純増1名」の目標により、各クラブ会員のご理解と組織の細分化を図りました。

その結果

(1) EXTの成果

- ・市原かずさLC（2月6日チャーターナイト、市原LCスポンサー）
- ・君津プラチナLC（5月15日チャーターナイト、君津LCスポンサー）
- ・市川フロンティアローズシニアLC（6月12日チャーターナイト、市川パインツリーLCスポンサー）

(2) 支部組織の成果

- ・千葉花見川LC支部・市原LC支部・南房総LC支部・袖ヶ浦LC支部・市原LC支部（予定）

(3) 会員増強の動静

- ・期首（2010.7.1） 会員数 3,511名
- ・現在（2011.4.30） 会員数 3,642名 純増数 ⊕131名

以上の成果でございますが、6月30日の期末にどう変化致しますか？ 最後まで会員各位と共に挑戦してまいります。

地区ガバナー紹介



魅力あるライオンズへの 改革を目指して

333-C地区ガバナーエレクト L金井 一夫
(4-BR2Z 八千代ライオンズクラブ所属)

2011～2012年度の国際テーマは、「I BELIEVE ～ 信じる」であります。

ライオンズメンバーやクラブに、何よりも「奉仕することが良い世界をもたらすことを信じる」よう呼びかけています。

その信念に基き、ライオンズのネットワークを活用して奉仕を実践することを身を以て示せば、いま現在、そして、これからの世界を動かす強力なインパクトを与えたいと考えております。

本年3月11日にこうむった1000年に一度という東日本大震災によって、わが県も被災を受けた方々が沢山おられます。これらの方々を励ましつつ、日本中がいま、復興に向けて救済を模索している真っ最中であります。

私たちライオンズ会員は、人のために何かを実行したいと願っている世界最大の奉仕団体、206ヶ国、130万人の一員であります。こういうときこそ、一致団結してFace to Face、Heart to Heartの奉仕を遂行し、誇りを持ってライオニズムを高め、仲間を増やし、連帯の輪を広げていきましょう。

ライオンズメンバーの方々、是非、各クラブで活発に知恵を出し合い、メンバーを取り巻く地域の人たちにも声をかけて、様々なかたちで奉仕を実践してみようではありませんか。

仲間と協調して行う奉仕活動が良い人間関係を育み、若者を育て、世の中に良い影響を与えます。We Serveに精進しましょう。

次期2011～2012年度333-C地区

ガバナースローガンは“愛する地域に 育む奉仕”

— 心豊かに ウイ サーブ — といたします。

所属クラブ 4-BR2Z 八千代ライオンズクラブ
生年月日 1936年7月28日
自宅 〒276-0032 八千代市八千代台東6-10-10
TEL 047-485-6521
勤務先 〒276-0032 八千代市八千代台東6-9-2
TEL 047-485-7575
勤務先名 公認会計士・税理士 金井一夫事務所 所長
最終学歴 1962年3月 中央大学商学部卒業
家族 妻・里永子
都留文科大学初等教育科 ピアノ講師
NHK学園文芸センター俳句講師

L 金井一夫 略歴

《ライオン歴》

1977年4月 333-C地区 4-BR2Z八千代ライオンズ入会 クラブ番号 025430
地区名 333-C 地区番号 5494 会員番号 Japanese 429963

1990年～1991年 八千代ライオンズクラブ会長

1980&1988年度 八千代ライオンズクラブ理事会メンバー

2007年～2008年 333-C地区 4R3Z ゾーン・チェアパーソン

2008年～2009年 333-C地区 4R リジョン・チェアパーソン

2009年～2010年 333-C地区 第2副地区ガバナー

2009年11月 ライオンズ国際協会主催 上位ライオンズ・リーダーシップ研究会修了

2010年～2011年 333-C地区 第1副地区ガバナー、333複合地区長期計画指導力委員
アワード MJF献金 5回

《職 歴》

1966年3月～現在 公認会計士開業登録

1967年8月～現在 税理士開業登録

1976年～1993年 日本公認会計士協会理事、常務理事

1993年～1999年 日本公認会計士協会副会長、同東京実務補習所所長

1977年～1998年 監査法人トーマツ代表社員

《公 職》

1978年～1980年 大蔵省企業会計審議会臨時委員

1983年～1986年 千葉県八千代市市議会議員

2007年11月～現在 金融庁契約監視委員会委員

《叙 勲》

2009年11月 旭日小綬章

《賞 罰》

1998年11月 八千代市篤行者功労（自治功労）

1999年11月 藍綬褒章（公認会計士功労）

第1副地区ガバナー紹介



仕事や経験を通して 社会に役立つ奉仕を

第1副地区ガバナー I長澤 千鶴子
(3R2Z 柏なの花ライオンズクラブ所属)

このたびの震災の被害を受けられた方々のご家族の皆様へ、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。微力ながら復興支援に協力させて頂くため、東日本大震災333-C地区女性支援対策本部を3月28日に立ち上げさせて頂きました。

333-C地区各リジョン、各女性クラブの皆様のご協力を頂きまして、岩手県・福島県・宮城県を中心に女性物資を支援させて頂きました。今後は物資支援と共に就職支援相談を行い継続的に支援していきたいと考えております。

4月10日に岩手県釜石市で支援物資の配布と被災地の状況を視察し、高校生たちの就職支援相談会に臨みました。5月10日～13日まで20名の対象者を千葉県にお招きして企業就職面接会を実施致します。

この度の震災を通して、自分一人の力では何もできないということを学びました。まず危機の時に仲間への信頼を力にすること。そして、逆境に陥ったときは自分一人で問題の解決にあたりますが、周りの支えを励みにすることで、新たな解決策や力が見えてくるのだと思います。プライドよりも仲間の力を借りること、それが大切なのではないのでしょうか。他人への感謝と思いやりの心で地域社会に貢献すること、社会福祉の増進に寄与すること、自分の仕事や経験を通して社会に役立つ奉仕、それが私の理想です。

これまでに学んだ経験を生かし、ライオンズクラブ会員の皆様とこれからも活動していきたいと思っております。

生年月日	1944年(昭和19年)5月27日	兵庫県出身
所属クラブ	3R2Z 柏なの花ライオンズクラブ	
現住所	〒277-0872 千葉県柏市十倉2-254-443	
	TEL 04-7143-4638	
学歴	近畿大学 短期大学部商経科中退	
職歴	株式会社ナック 代表取締役	
家族	夫・二郎	
	長男・学	
	長男の妻・真由美	
	孫・大我、樹莉亜	

L長澤千鶴子 略歴

《ライオン歴》

年 度	クラブ内	333-C地区（準地区）
1993～	柏なの花LC入会（チャーターメンバー）	
1995～1996	幹事	
1996～1997	第三副会長	
1997～1998	第二副会長	
1998～1999	第一副会長	
1999～2000	会長	
2000～2001	前会長	地区PR情報委員
2001～2002	二年理事	地区3R2Zゾーン・チェアパーソン
2002～2003	二年理事、十周年実行委員長	
2003～2004	一年理事	
2004～2005	一年理事	
2005～2006	計画理事	
2007～2008	一年理事	地区3Rリジョン・チェアパーソン
2008～2009	会員理事	
2009～2010	計画理事	地区女性会員増強委員長
2010～2011	二年理事、柏若虎支部構成員	地区第2副地区ガバナー

・国際協会主催講師育成研究会修了 (2008年3月28日～31日)

・国際協会主催日本ライオンズ女性会員ワークショップ (2010年11月14日～16日)

《アワード》

- ・メンバーシップキー賞
- ・メンバーシップアドバンスメントキー賞
- ・ビルダーキー賞
- ・シニアビルダーキー賞
- ・女性会員増強ピン（純増25名以上による）
- ・1996年 100% クラブ幹事賞
- ・2000年 100% クラブ会長賞
- ・国際会長リーダーシップアワード
- ・累進MJF献金 8回
- ・国際会長賞 1回
- ・国際会長感謝状 2回
- ・地区ガバナー感謝状 2回
- ・各キー賞は通算スポンサー17人による

《公 職》

柏市緑政審議会委員

日本網膜色素変性症協会 支援理事

第2副地区ガバナー紹介



「抱 負」

第2副地区ガバナー L正木 守
(8 R 2 Z 君津ライオンズクラブ所属)

地区ニュースの編集委員や各関係役員の方々に、感謝申し上げます。また、このような機会に恵まれましたことに、心より御礼申し上げます。

ライオンズクラブは奉仕を行う団体です。では奉仕って何でしょう？それは、「人が人を思いやる優しい気持ち」それ以外にはあり得ないと考えています。その優しい気持ちの現わし方は、人それぞれで異なるでしょう。それを「愛」と呼ぶ人もいるでしょう「慈悲の心」や「布施の心」と呼ぶ人もいます。奉仕活動の内容は、青少年育成事業・緊急災害復旧活動・会員増強活動・献血献眼活動等があり、いずれにしても、その根底に流れている精神は「人が人を思いやる優しい気持ち」でなければ、奉仕ではないのです。

333-C地区単県独立30年目の年に、第2副地区ガバナー候補として、8 Rから手を挙げさせて戴いた最大の理由は、333-C地区の礎を築きあげた元地区ガバナー故L杉浦（君津LC所属）の魂の叫びである「333-C地区ライオンズ憲章」に基づいたライオニズムの根本的原則を守り、実践する精神を継承して行くことが、私の責務であり使命と感じたからです。

この地区のライオンズクラブが、一枚岩となり、一人ひとりの小さな手を力強く繋ぎ合うことができれば、この未曾有の国難、東日本大震災支援も、将来の日本の為の青少年健全育成事業も、素晴らしい力を発揮できると信じております。

どうか皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げ、私の抱負とさせて戴きます。

所属クラブ	333-C地区 8 R 2 Z 君津ライオンズクラブ
生年月日	1952年3月2日
住 所	〒299-1146 千葉県君津市大和田2-3-8
職 業	株式会社正木設計 代表取締役
最終学歴	福岡県立戸畑工業高校
家 族	妻・秀子（君津ひまわり支部会員） 次女・康子
趣 味	山歩き・旅行・ゴルフ
座右の銘	人間万事塞翁が馬

L 正木守 略歴

《ライオンズクラブ歴》

- 1983年～ 入会
1997年～1998年 会長
1998年～1999年 333-C地区YE副委員長
1999年～2000年 333-C地区YE副委員長／地区運営特別検討委員
2000年～2001年 333-C地区YE委員長／333-C地区IT副委員長
2001年～2002年 333-C地区IT委員長
2004年～2005年 333-C地区青少年指導・LEO委員
2005年～2006年 333-C地区青少年指導・LEO委員・ライオンズ児童奉仕副委員長
2006年～2007年 333-C地区8R-2Z ゾーン・チェアパーソン
2007年～2008年 333-C地区ライオンズクエスト・LEO・青少年指導委員長
333-B・C地区ライオンズクエスト拡大事業運営委員長
2008年～2009年 333-C地区ライオンズクエスト・LEO・青少年指導委員長
333-B・C地区ライオンズクエスト拡大事業運営委員長
2009年～2010年 333-C地区8R リジョン・チェアパーソン
333-B・C地区ライオンズクエスト拡大事業運営委員長
2010年～2011年 333-B・C地区ライオンズクエスト拡大事業運営委員長（12月迄）

《受賞記録》

- 2000年～2001年 国際会長感謝状
2001年～2002年 国際会長感謝状
2006年～2007年 地区ガバナー特別感謝賞
2007年～2008年 国際会長リーダーシップ賞・ライオンズクエスト推進功労賞
2008年～2009年 国際会長リーダーシップ賞
2009年～2010年 国際会長感謝状
2010年～2011年 MJF 4回

《公 職》

- 君津市商工会議所副会頭
君津市法人会周西副支部長

市原かずさLC 認証状伝達式

認証状伝達式を終えて

市原かずさライオンズクラブ 会長

❷ 露崎 清美

本日の市原かずさライオンズの認証式に、市原市長を始めとするご来賓の皆様方、竹下徳永333-C地区ガバナーを始めとする地区役員の皆様方、又、親クラブであります市原ライオンズクラブの皆様方、そしてブラザーズクラブからは会長を始めとする多くのライオンの皆様方のご出席を頂き、この式典を開催することが出来得ましたこと、メンバー27名を代表し心より御礼申し上げます。

なかんずく、今日のこの日まで手取り足取り私たちをご指導くださいました市原ライオンズクラブ庄司辰二郎ライオンには改めて感謝申し上げる次第であります。庄司ライオン大変ありがとうございました。

多くの皆様方の手により誕生した私たちは、本日より、「ウイ サープ」を基本理念とし一人前のライオンマンとして行動することになりましたが、今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。



当クラブについて申し上げます。

2010年9月23日市原ライオンズクラブ例会場に於いて、市原かずさ支部を12名のメンバーで結成させて頂き、11月3日24名を持ち市原かずさライオンズクラブを結成させて頂きました。そして本日の認証式でございます。

メンバーは27名でございます。

「さあー 出発しよう、新しい世界」に、素晴らしいメンバーの方々に集まって頂きました。

われわれはこれから「ウイ サープ」の旗の基に力を合わせ行動します。

そして更なる会員増強を目指して行きたいと思います。

力ある市原かずさライオンズクラブになれば、このクラブ会長には是非なりたいと順番をまつメンバーが続出します。

そのような力あるクラブを全員の手で作って参りたいと思います。

メンバーの皆さんご協力よろしくお願い致します。



最後に本日の式典に花を添えて頂いた、市原とび職組合青年部による「木遣り」、又、二次会で披露して頂ける、かりゆしエイサー隊による「沖縄芸能」に心から感謝申し上げ私の挨拶とさせていただきます。

市川フロンティアローズシニアLC 結成式

市川フロンティアローズシニアライオンズクラブ 結成までの経過報告

地区シニア会員増強委員長

高木 正平

今期、私は地区シニア会員増強委員長在籍の時、この市川にひとつライオンズクラブを結成したいと考えていることを昨年7月、第1回地区シニア会員増強委員会の際、提案いたしましたところ快く賛成の確認を頂きました。そして、準備委員会を立ち上げました。

それを受けて、昨年10月、地区EXT委員長実籾富二男ライオンのご参加を頂き、第1回の市川シニアライオンズクラブ結成説明会を開催しましたところ、副委員長の小久保千代吉ライオン（船橋シニアライオンズクラブ所属）、玉井秀幸ライオン（白井シニアライオンズクラブ所属）、局充ライオン（流山シニアライオンズクラブ所属）各位のご尽力により最初から11名の参加者がございました。以来、今年



市川フロンティアローズシニアLC

3月25日開催された第8最終説明会の時には28名を超える参加者がありそのほとんどの方が現在チャーターメンバーとして在籍しております。

又、第3回説明会の時、「市川シニアライオンズクラブ」とするのは若い方もおられるので「市川フロンティアローズライオンズクラブ」にしてはという提案もありましたが、地区シニア会員増強委員会として「シニア」の名称は外せないということで「市川フロンティアローズシニアライオンズクラブ」ということに決まったことも申し添えます。

4月2日、市川市文化会館において結成式を開催出来ましたことはこの市川を明るく元気のある住みよい地域にしようとする奉仕の精神に賛同された新メンバー24名の熱い想いの賜物であります。結成準備委員会一同心より御礼を申し上げます。

又、来る6月12日、市川グランドホテルに於いて認証状伝達式が開催されることも既に決定されておりますので合わせてご報告いたします。

最後に、結成に際しご指導ご協力を戴きました地区ガバナーはじめ地区役員・温かく経緯を見守り、心の支えとなり



市川パインズLC

ご支援くださいました1ゾーンの各クラブ・市川パインズ

リーライオンズクラブの皆様にご心から御礼を申し上げます。

これからは、C地区の諸先輩からご指導を頂きながら地域から愛されるクラブとして活動を続けてゆきたいと考えております。

今後のご指導をお願い申し上げまして経過報告とさせていただきます。有難うございました。



市川フロンティアローズシニアLC
結成準備委員会の皆様と

君津プラチナLC 認証状伝達式

揺るぎない理念と行動をもって — 認証状伝達式を終えて —

君津プラチナライオンズクラブ 会長

Ⅱ 萱野 孝一

この度、君津ライオンズクラブをスポンサークラブとして、「君津プラチナライオンズクラブ」が、君津市長様を初めとして、ご来賓の皆様やライオンズクラブの関係者、竹下地区ガバナー・高田前地区ガバナー・地区役員の皆様、そしてブラザークラブの皆様にお集まりを頂いて「認証状伝達式」を5月15日に開催することが出来ました。

ご来賓の皆様や竹下地区ガバナーを初めとして、ライオンズ関係者の皆様より励ましや激励のお言葉を頂き、盛大に挙行することが出来ました。

この認証状伝達式開催に当たり、E X T 委員長のⅡ正木守・ガイディングライオン松田芳己・スポンサークラブの皆様には、多方面に亘り色々ご尽力を下さいまして、心から御礼を申し上げます。



過日、「君津プラチナライオンズクラブ」と書かれました認証状を手にした時は、メンバー全員感動と感激を致しました。そして自筆によるサインをさせて頂いた時は、責任の重さを感じました。

皆様のお陰で新クラブとして、誕生をさせて頂きましたが、私達の住んでいるこの地域の皆様には、まだまだ「君津プラチナライオンズクラブ」としての知名度もなく、ご理解もされて居りません。

今後、先輩クラブのように信頼され、そして存在感のあるクラブとして末永く歩んで行くためには、私達は揺るぎない「理念」と「行動」を示して行かなければなりません。

そのためには、ブラザークラブの皆様やスポンサークラブの皆様には、今後共にご指導とご協力を切にお願いするところでございます。

結びに当たりまして、スポンサークラブの皆様を始めと致しまして、各クラブのご繁栄とメンバーひとり一人のご健勝をご祈念申し上げます。



成田エアポートLC CN15周年記念式典

希望の光

成田エアポートライオンズクラブ 会長

ㄥ鳩澤 敏



日時 平成23年2月12日

場所 ヒルトン成田ロイヤルホール

成田エアポートライオンズクラブは、1997年3月22日成田ライオンズクラブのスポンサーにより誕生しました。以来15年間多くの諸先輩のご指導を賜り、青少年の健全育成、環境美化福祉活動と地域社会に貢献してまいりました。特に献血活動においては、結成以来69回を実施し、日本赤十字社からアワードをいただきました。また、YCEの派遣や受け入れに積極的に取り組み、成果を上げております。

15周年記念事業

- 1 成田市社会福祉協議会へ 電子黒板一式寄贈
- 2 成田市サッカー協会 大会支援（成田エアポートライオンズ杯）
- 3 成田市ミニバスケット 大会支援（成田エアポートライオンズ杯）
- 4 成田市言葉と心を育む親の会 支援

式典には、成田市長小泉一成様、イオンモール成田ゼネラルマネージャー福家敏記様、成田国際空港社長森中小三郎様をご来賓に、ライオンズクラブ関係では地区ガバナーㄥ竹下徳永をはじめ元地区ガバナー、キャビネット役員の方々をお迎えして厳粛に始まりました。式典が終わりますと、成田国際空港社長に「World Sky Gate-Narita」と題した成田空港の現



状とこれからの取り組みを話していただきました。

祝宴に移りますと厳粛ムードから一転し、クラブメンバー参加のバンドによる懐かしい音楽やエキゾチックなベリーダンスと千葉県マスコットのチーバくん+飛び入り参加のメンバーのダンスで大いに盛り上がりしました。

当クラブは、今期15周年を迎えてさらなる精進と結束を図り、来るべき明るい未来に向けて地域社会に愛されるライオンズクラブを目指していききたいと思います。



柏中央LC 結成35周年記念式典

未来をみつめ社会奉仕

柏中央ライオンズクラブ 会長

工藤 勝大

北極の氷が異常な速さで溶けています。この40年間で厚さが40%も薄くなったと言われ北極グマが飢餓の危機に直面していると報道されています。

地球温暖化を食い止めるために、まさに地球上の人々は真摯にこの緊急課題に取り組まなければなりません。

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源地とする世界最大級のM9.0の超巨大地震が発生しました。被災者が元気を取り戻し被災地が一日も早く復興されることを祈念いたします。この巨大地震は自然破壊を重ねる人間に発した自然界の悲痛な声かもしれません。

本クラブは1976年の結成から35年、環境保全や青少年健全育成など、地域社会と連携した社会奉仕を積み重ねてまいりました。

この筋目を契機にメンバー一同が新たな決意で地球の未来をみつめ、更なる社会奉仕に精進してまいる所存です。

2月13日には結成35周年を祝し、多くの同志を始め各界の来賓の臨席を賜り式典を執行了いました。

式典に先立ち記念事業のひとつである講演会を式典会場と同じJR柏駅前の三井ガーデンホテル柏で行いました。講師は車イステニスの第一人者・国枝慎吾プロです。2006年アテネパラリンピックで金メダルを獲得して以来、世界の桧舞台で活躍しているのは周知の通りです。現在車イステニスの世界ランキング1位の座にあります。

講演会場は市民やライオンズメンバーでほぼ満員。1月には全豪オープンで優勝を飾ったばかりですが、優しい語り口ながら年間グランドスラムを達成したナンバーワンの講演は迫力満点でした。

式典には姉妹クラブの韓国新釜山LCからレディ同伴で12名。新潟長岡柏LC21名、水海道LC9名の参列をいただき、多くのブラザークラブの同志と共に一層の交流を深めました。



柏中央LC結成35周年記念大会、レブラカン歌劇団と（C）v2011/02/13

市原南LC 結成45周年記念例会

CN45周年を終えて

市原南ライオンズクラブ 幹事

㊦竹内 弘明

今年度、我々の市原南LCは、CN45周年を迎える年に当る為、三役選出会議の折、自ら挙手をして、幹事の役を受けました。

この記念すべき年に我がクラブよりガバナーが選出され、更にキャビネット役員も7名出ております。

45周年の行事を成功させたく、会長㊦鎌瀧をはじめ三役、実行委員長の㊦中村、事業委員長㊦青木 共々11月より準備をはじめまし

た。途中㊦中村が、体調をくずし㊦青木の苦労は、なみならぬものではなかったかと思います。2月23日第8回の打合せを最終に、ようやく2月27日の本番を迎える事が出来ました。

当日は、162名の出席をいただき、式典も盛大に行う事が出来ました。

31年前に姉妹関係を結んでいる、台南市中山獅子会の方々も、今回はガバナー㊦竹下が出ているという事もあり元ガバナー黄四山夫婦、薫会長をはじめ、9家族17名の方が来訪されました。

中山獅子会の例会に我々も何回か参加し、歓待を受けておりますので今回は前夜祭をタクエーリゾートホテルで、市原南LCより18名、市原さくらLCより16名、一般5名の総勢55名の参加で行い



ました。フラダンス・カラオケ・市原さくらLCの“春シリーズ”の合唱と楽しいひとときでした。

そして、45周年の式典にも皆様で参加していただき、国際色豊に行う事が出来ました。

記念誌に投稿いただいた方、又、式典にご参加いただいた皆様方に感謝、感謝の二文字です。



富津LC 結成45周年記念例会

CN45周年式典を終えて

富津ライオンズクラブ 会長

石井 三郎

富津LCは1965年12月、木更津LCをスポンサーとして日本で999番目に結成されたクラブです。結成以来3つのテーマで奉仕活動を行って参りました。

1. 青少年健全育成活動
2. 愛の献血奉仕活動
3. 環境美化・保全活動 です。

主な事業として15周年記念事業として青少年武道大会を開催し、それ以来本年30回を迎えました。剣道・柔道・空手・なぎなたの4種目ですが、去る1月の大会では1,300名の選手が技を競いました。また献血では日本赤十字社と協力して、昨年度は67万ccの献血量でした。本年も同様のペースで進行しております。



このような種々奉仕活動が出来るのも地域の皆様や各企業のご理解とご協力の賜物です。これからもこうした関係を大切に参りたいと思います。

3月6日の式典では武道大会にご協力いただいている各団体に支援金を贈呈すると共に、毎回献血会場を提供してくださっている各企業に対し感謝状を差し上げました。また、記念ACTとして富津中学校武道場に柔道畳240畳を贈りました。

式典後、私どもクラブのメンバーである代議士のL浜田靖一の記念講演があり、鏡開きの後、祝宴に移りました。祝宴の冒頭では、富津中学校ブラスバンド部の皆さん40名による感動的な演奏や、クラブ対抗のカラオケ大会、ラッキーカードが行われました。ラッキーカードではトマト、ねぎなどの野菜、花や浅草のりなどの地元産品が景品に提供され楽しいひとときを過ごしました。

この45周年を節目として50周年に向けて、メンバー同力を合わせ更なる奉仕活動に精進することをお誓い致します。



旭LC 結成45周年記念式典

— 式典テーマ 誇り得る年輪重ねて 45 —

旭LC結成45周年記念式典 委員長

L伊東 諒



金谷会長は力強く開式宣言



元国際理事・後藤隆一ライオンの講演

い式典は滞りなく終了する。

第二部の祝宴に移ると、圧巻は全国各地から一流のプロを集めたフラメンコ集団の見事な演技に魅了され、企画部会がサプライズとして行った「昔懐かしラッキーカード」の抽選会に至っては「もてなしの心」が会場を更に盛り上げ祝宴は終了した。

旭LCは、5年毎の周年をクラブ発展の節目と位置付けてきた。昨今の社会情勢を鑑みて45周年を如何にするかと議論もしたが、だからこそ実行したのが45周年の式典であった事にご理解を頂きたい。

美人揃いのバイオリニスト8人で奏でるオープニング前の素敵な演奏。開式15分前には320席を用意した式典会場は満席となり華やかな雰囲気にも包まれる。やがて、会場照明は暗転され響き渡る大音響の中で式典演台に立つ「金谷修一会長」に強烈なスポットライトが当たる。

“誇り得る年輪重ねて45 只今より旭ライオンズクラブ結成45周年記念式典を開会します”

堂々たる宣言と会場に鳴り響くゴング。こうして会員73名を擁する旭LC総力を挙げての結成45周年記念式典の幕が上がった。

平成23年3月6日(日)ヒューマンプラザ黄鶴を会場とする当日は、333-C地区竹下徳永ガバナー・記念講演(ミニ講演)講師として招かれた元国際理事の後藤隆一ライオン・旭市長の明智忠直様はじめ多くのご来賓、遠くは長野県・群馬県から駆けつけてくれた姉妹・友好クラブをはじめ300名を超すライオンが会場を埋め尽くす。

ミニ講演とは言え、後藤元国際理事の「世界のライオンズ余話」に耳目が集まるなど、内容の濃



会場を魅了したフラメンコ

君津中央LC CN40周年記念式典

「次世代の育成」と「豊かな緑の環境保全」を柱に40年 — 君津中央ライオンズクラブCN40周年記念式典を開催 —

君津中央ライオンズクラブ 会長

石井 昭平

私たち君津中央ライオンズクラブは、君津ライオンズクラブをスポンサークラブとして1971年4月25日に結成され、今年で40周年を迎えました。当日は、君津市長鈴木洋邦様、333-C地区L竹下徳永ガバナー、キャビネット役員はじめ数多くのご来賓の皆様、地区役員の方々、ブラザークラブの会員の皆様には公私共に極めてご多忙のところご臨席を賜り衷心より厚く御礼を申し上げます。

当ライオンズクラブ40周年記念事業といたしまして

* 薬物乱用防止教室

予定日 清和中学校 5月26日

小糸中学校 6月3日

* 交通安全塔標識看板 修復改装事業 2基

(標語: “飲酒運転は犯罪です”)

* 鹿野山参道記念碑修復事業

* 小糸公民館内掲示板寄贈

* バス停ベンチ5台寄贈 (ライオンズ名前入り)

* きみつ少年少女合唱団へ活動資金助成

* 緑の環境保全事業基金へ助成金

* 千葉県無形民俗文化財保存会後継者育成基金へ助成金 (鹿野山梯子獅子舞、三島棒術)

* 小糸地区および清和地区青少年健全育成協議会へ助成金

* 小糸少年相撲大会へ助成金

* 小糸地区および清和地区スポーツ少年団 (少年野球) への活動資金の助成金

* ライオンズクラブ内リジョン青少年健全育成基金へ助成金

* 東日本大震災義援金拠出



私たちのクラブの地域は、水と緑の豊かな環境にあり、結成当時から「青少年健全育成」「郷土の無形民俗文化財保存会後継者育成」「緑の保全」の3本柱を中心に奉仕活動を掲げてまいりました。この40周年を期に更に地域に根ざした意義ある奉仕を続けていく所存であります。

当日アトラクションで、きみつ少年少女合唱団の合唱演奏が行われ、爽やかな歌声に一同魅了され一服の清涼剤になり終了しました。

尚、3月11日の東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

千葉エコーLC CN45周年記念例会

45周年記念例会を質素に開催

千葉エコーライオンズクラブ 会長

Ｌ新井 貞男

当千葉エコーライオンズクラブは、1965年に千葉中央ライオンズクラブのスポンサーで結成され、今年45周年を迎えることが出来ました。結成以来の皆様のご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

記念事業をどうするかについて理事会で慎重に検討を続けた結果、今日の社会情勢を考慮し、質素にしかも心に残るものとする事になり、記念例会とし、お客様は5R2Zのクラブとスポンサークラブに限定することにしました。このことをキャビネット幹事に報告し、快諾を得ました。



4月26日に京成ホテルミラマーレにおいて開催した記念例会は、お客様を含めて54名の参加者で、会長挨拶、幹事報告、来賓挨拶で終了し、懇親会はテノール・ピアノ・バイオリンのクラシック音楽を楽しみました。

45周年は質素に行いましたが、50周年事業は盛大に開催することを確認し、21時過ぎ、なごやかなうちに帰途につきました。



我がクラブの今回の内容は、333-C地区でもめずらしい内容であり、皆様の評価も分かれると思いますが、一つの方法として受け止めていただければ幸いです。

船橋LC CN50周年記念例会

時は今、開く義捐の清筵

船橋ライオンズクラブ 元地区ガバナー

小西 宗仁



“悠揚の春、再誕”を掲げて船橋LCはCN50周年、義捐の清筵と題して去る4月29日地元にて約270名を招き記念例会を開催した。3月11日に発生した東日本大震災に多くの尊い命が奪われた大災害に世界中が震撼した。この痛ましい惨状に今回の催事は自重自粛や延期の声が錯綜する中でクラブ最古参の唯一のチャーターメンバー小西宗仁が『こんな時こそ、ごく普段の生活のテンポに戻すことだ』という喝に全メンバーが奮起した。

記念例会の基本方針として実行メンバーは日本の長い歴史と伝統の中で培われた人の痛みの分る“惻隱の情”を強く認識し『今、自分たちが出来ることは何か』真剣に模索し、小西宗仁実行委員長から『身の丈の合った奉仕実践で確かな一歩を』が宣明された。

式典で挨拶に立った若獅子小西純会長は『私は昨日まで南相馬に出向き持参した見舞品と共に放置された救援物資を被災された老人ホーム等に持参し感謝された。併わせて小西博文（大網白里LC）が釜石市に8回に及ぶ見舞出張の途次、現地企業の閉鎖で就職先を失った女子高生が千葉県内企業に就職したことを披露』来会した女子高生に祝福の拍手が送られた。

地元市長や山浦国際理事らが来会し黙祷から始まり、わがクラブ50周年の系譜の中で5人のガバナーを輩出、現在在籍の小西宗仁、小西下務、小西宗仁に国際会長感謝状が贈呈された。県下二番目に古いクラブにも紆余曲折、波乱万丈の中で会員が激減したが『クラブの伝統を伝説にするな』と中堅が奮起し獅子吼再誕した。昨今の日本は逆境のド真中。然し日本には生活を極限まで簡朴にし心の豊かさで風雅を楽しむ誇るべき文化がある。惻隱の情を以って粘り強く生き抜く姿勢を次代を担う若き世代に確りと伝播。“わがクラブは永遠に不滅”と雄叫びを挙げた小西下務で閉幕。

希わくばCN100周年に向けて明日の日本再生が叶う確かな一歩が踏み出されんことを。

（仁恕）



柏みどりLC 結成10周年記念例会

柏みどりライオンズクラブ 結成10周年記念例会

柏みどりライオンズクラブ 会長

し永岡 紀子

平成23年5月11日、柏市長様・竹下地区ガバナー、キャビネット役員の皆様、スポンサークラブ、ブラザークラブの皆様のご列席を賜り開催致しました。

伝統ある柏ライオンズクラブのスポンサーにより、会費の少ないクラブとして誕生した私達「柏みどりライオンズクラブ」です。しかしながら、ライオンズメンバーとして恥じない奉仕活動は何が出来るかを常に考えながらの10年間でした。

当日は東日本大震災より2ヶ月目にあたり、例会は黙祷より始まりました。

震災により様々な行事が中止される中での記念例会は、復興支援を考慮し「テールツイスタータイム」では、チャリティオークションを試みました。

RCL小田部様・1ZCL仙田様・2ZCL辻様には、素晴らしい出品を頂き、総勢95名の参加者皆様の積極的なご協力により、思いの外収益を上げられ、記念すべき支援事業となりました。支援先を次回例会にて検討する予定です。

去る2月7日に開催した「10周年記念チャリティコンサート」の収益金では、柏市緑の基金へ「緑とふれあうベンチ・2基」・社会福祉法人緑の会いずみ園へは「金一封」をそれぞれ寄贈することが出来ました。

これからも、自分達の出来ることを着実に成し遂げられるよう、メンバー同努力を重ね、地域社会への奉仕をしたいと思います。

柏みどりライオンズクラブ 結成10周年記念例会



10周年メンバー同



10周年ガバナー挨拶



ベンチ



いずみ園の皆さんと

被災地の復興を願って

栗源ライオンズクラブ 会長

ㄥ齋藤 弘毅

新緑が目に映る好季節となつてまいりました。

先ず冒頭、東日本大震災で被災された多くの皆様方にお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興を願う物であります。

栗源ライオンズクラブは、今年結成25周年を迎え記念例会を行う予定でありましたが、先の震災でことごとく、いろいろな行事が中止又は延期となり私達も協議した結果記念例会を今回は中止にしようということになりました。

その後、さっそく被災地を訪問、多古町の土井商店に依頼し、ホカホカの焼き芋660本を、飯岡LCのご案内で被災地の皆さんに届けてまいりました。避難所での生活は大変だなとつくづく思いました。会員一同は、一日も早い復興を願いながら、なお災害支援事業をやらなくてはとの思いで帰つてきました。



飯岡避難所にて焼イモを届ける



飯岡避難所にて焼イモ660個（2ヶ所へ）

きました。本当に有り難いことです。終了後さっそく区支所に届けて参りました。

我々会員は、今のところ12名ではありますが今後も活動や事業等を積極的に進めてまいりたいと思っております。

知性・奉仕・友愛・そしてさらなる飛躍へ。

その後、当地区内で毎年行われている「栗源LC杯グランドゴルフ大会」（今年9回目）が、5月6日に開催され多くの人たちが参加して頂きました。（160名）

そして今回は「東日本大震災チャリティグランドゴルフ大会」と称して、支援の募金箱を用意して皆さんに呼びかけてご協力をお願い致しました。

多くの皆様
のご協力を頂



地区EXT・会員維持委員会

【委員会報告】 地区EXT・会員維持委員会

地区EXT・会員維持委員長

Ｌ実 粉 富二男

(1) エクステンション

今期は3つの新クラブが設立されました。新クラブ設立にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。

クラブ名	スポンサークラブ	結成会	認証状伝達式
市原かずさＬＣ	市原ＬＣ	2010年11月3日	2011年2月6日
君津プラチナＬＣ	君津ＬＣ	2011年2月19日	2011年5月15日
市川フロンティアローズシニアＬＣ	市川パインツリーＬＣ	2011年4月2日	2011年6月12日

(2) 会員維持

東日本大震災により、壊滅的な打撃を受けたクラブが多数あります。ゴールデンウィーク中、所属クラブでは宮城県を拠点として、ノンライオン含め約25名で岩手県、宮城県で支援活動を行いました。津波で自宅と会社を失った南三陸志津川ライオンズクラブ会長は、避難所生活をしているにもかかわらず、唯一残された軽トラックで被災者のために物資を運んでいます。

333-C地区においても、被災されたメンバーやクラブがあります。333-C地区で被災されたメンバーが退会しないように、そして、解散するクラブがないように、できる限りの施策を講じることがキャビネットに求められていると思います。皆様には、退会防止の呼びかけを是非ともお願い致します。



市原かずさＬＣ認証状伝達式
2011年2月6日(日)



君津プラチナＬＣ認証状伝達式
2011年5月15日(日)



市川フロンティアローズシニアＬＣ
結成式 2011年4月2日(土)

地区ライオンズクエスト委員会

なんといっても コミュニケーション力と 本当の自信を持つことが大切!!!

地区ライオンズクエスト委員長

波木 奏美

3月11日に発生した東北・関東大震災でたくさんの方々が痛ましいほどに被災されました。ライオンネットのメールを見るとすでにボランティアの呼びかけ、飲料水の配送の準備など各地のライオンたちが動いていました。縦る思いで私も「千葉県の九十九里海岸沿いが津波の災害を受けています。何とかして欲しい。」と呼びかけました。自分の微力さに嘆いている折、テレビの中から「子供の頃よりコミュニケーション力をしっかりつけさせ、ボランティアの精神を育てることが今一番の大人の仕事なんだ。」と天の声が聞こえました。これからも世界中で発生するであろう自然災害をふまえて、心優しく逞しい青少年を育てることが私たちの使命の一つだと思いました。

正にこの精神を根幹にして組み立てられているライオンズクエストの思春期のライフスキルプログラムは青少年の健やかな心の成長には欠かせない何よりのものと断言できます。又、コミュニケーション力と共に「本当の自信」をもっとつけてもらいたいのです。「本当の自信」とは次の三点にささえられています。それは①自分にできること。力をいれていることがある。②自分の良いこ



とを他人に認められていることがある。③責任を持って行動することができる。なのです。私は更にライオンズクエストを拡げていかなければという思いで胸が一杯です。



地区献血・献眼・献腎推進委員会

地区献血・献眼・献腎推進委員会報告

地区献血・献眼・献腎推進委員長

Ｌ平山 佐吉

まず初めに、8月「献眼研修会」・9月「献血研究会」・10月「献腎及び改正臓器移植法に関する勉強会」各セミナーへ多くの方にご参加頂き、誠に有難う御座いました。

委員長を依頼された私は、この分野は全くの素人であり、当初はどうなる事かと思い悩みました。幸い委員会各位のご協力を得て、調査・研究を始めることにしました。しかしやればやるほど守備範囲が広く成るなと感じました。

特に本年度、法改正のありました臓器移植法に関しましては、WHO世界保健機構の、警告による自国の臓器は自国で提供・調達をとの事によるものでした。そしてわが国で法改正があった訳です。その奥に隠された事実とは、主にアジア地区で行われている、臓器売買や人身売買、又提供元の倫理感や道德感の欠如による臓器提供行為等々です。本当にこれで良いのだろうかと考えさせられました。私はそんな観点より初めてのセミナーを企画し、お話をさせて頂きました。

又メインテーマには臨場に多く立会い、経験豊かな国立病院：宮崎講師をお迎えして、専門家として臓器移植のお話を頂きました。やはりマスコミ発表だけでは分からないことが沢山あり、参加者より質疑を多く頂き、かなりのご理解を頂けたのかと感じました。

献眼研修会につきましては、いかに自クラブでの管理体制を敷くかをテーマに、「その時、冷静に・忘れない・貢献する」の3拍子により、1人の善意が2人の方に、明るい未来のプレゼントが出来ることへの喜びを、奉仕の精神を持ってクラブ全体で取り組んで頂くことが必須という事を勉強しました。

献血研究会につきましては、先進の3クラブ、成田エアポートLCには「班別フォロー体制の構築」を、茂原LCには「合同献血活動報告」を、富津LCには「献血推進に奇策なし」との発表をして頂きました。特に独自のアイディアと熱意で昨年度36回67万ccを越える実績を誇る、富津LCのプレゼンは聴衆に驚きと感動を与えました。私たちライオンズクラブの一番大切な行動目的は奉仕活動です。そのアクティビティを利用してクラブの結束をはかり、そしてクラブの繁栄・発展を共にしていきませんか。各セミナーへのご参加に対し日本で一番美しい言葉「ありがとう」をプレゼントし、引きつづきのご協力をお願い申し上げます。

海外研修に行って感じたこと

地区LEO委員長

L谷川 渡

2011年2月10日(木)～13日(日)の日程で、団長の金井一夫第1副地区ガバナー・高田浩前地区ガバナー・ライオンズメンバー9名、レオメンバー12名、ライオンズスピーチコンテスト最優秀者陳紀安君の24名で、台湾の台北を中心に海外研修してまいりました。

今期の台湾研修計画では、柏ライオンズクラブ及び同クラブと姉妹交流している台湾大同ライオンズクラブには、交流レオクラブの紹介・見学場所等のご配慮をして頂き大変感謝しております。

台湾空港に着くなり、南国の国の真冬を体感しました、バスの車内でも、建物内でも一年中クーラーが利いており寒くて堪りませんでした、寒いので暖房にしてもらうよう頼んだのですが、台湾では暖房が無いと言われ、厚着をして我慢するだけでした。

交流会では、300-B1第1副地区ガバナー・第2副地区ガバナー・300-A2大同ライオンズ・300-B1福榮ライオンズクラブ・福榮レオクラブメンバー、33名と、バナー及び記念品の交換、団長・レオ委員長・レオ会長挨拶を行い、333-Cレオ地区の一年間の活動を、スライドで紹介をして参りました。



その後、陳君の中国語で、スピーチを披露し、夕食を取りながら、双方のレオメンバーによる、交換文化交流をおこない、お別れにレオクラブメンバーにより歌の余興で終了、最後まで別れを惜しみメールアドレスとうの交換に時間が足りない様子でした。

二日目の第一の見学場所は、幼稚園から高等学校までの一貫の台北私立再興学校を、高等学校の校長先生が教育説明と校舎等の案内をしてくれました。

学校の体育館は、建物の地下1階から地下3階までと成っており、千葉県高等学校と、バスケットボールを通じ交流しています。

又英語教育は、世界各国の英語の先生とインターネット経由で、学習しており、日本の学校との違いを感じました。

第二の見学場所は、青少年宿泊施設で、日本で言うユースホテルと言う雰囲気です、この施設は、ツインルームから6人部屋間での宿伯棟・大小の教室ルーム・会議室・定員400人の多目的ホール・食堂等の施設で、日本からも、水のフォーラムが開催しており日本人も大勢の参加者がいました。



第三の見学場所は、財団法人が運営している老人ホームです。

この財団はキリスト教会が母体に成り2000年に運営を開始し、一人一室の満60歳以上の、432名が入居しております。

施設に入ってまず驚いたのが、消毒の臭いが無いことです、施設長より説明を受け施設を見学して又驚きました。

館内は高級ホテルと間違うほどの設備を設け、住居老人から認知症者までの四段階に分け居住空間を分離しており、家族の見舞いや付き添い者用の宿泊の部屋も完備されております、入居費用を聞いて又ビックリ、入居時に日本円で、七拾万との事でした。

この施設に入居希望をしたところ、本人か妻が台湾人で無いと駄目でした。

又この施設には教会も有り結婚式も行うことでした。

三日目の第一の見学場所は、廃坑金鉱山町の九份老街で、千と千尋の神隠しのモデルになった場所で、昭和初期の日本の娯楽場の雰囲気でした。

午後は、国立故宮博物館を見学し中国古典を勉強しました。

四日目は、中正記念堂を見学をして空港に向かい帰路に着きました。

333-C地区海外研修はLEO活動を活発に行いその感想はレオの活動報告書で見て頂きたい。



これからもライオンズメンバーの
温かいご支援とご協力を宜しく願
い致します。



東日本大震災復興を祈る

地区IT・ALERT委員長

㊦松本 宰史

東日本大震災で、被災された方々に、改めてお見舞いを申し上げます。

今回は、地区ALERT委員長としての立場で、記させていただきます。

3.11当日から、地区ホームページに「ALERTメッセージ」リリース、情報の共有化を図り、災害への対応に役立て、いち早くアクティビティが実行される目的で掲載し、皆様からの直接の書き込みで、有意義な役割を果たすことが出来たことを、感謝申し上げます。

3.11は日本国民をどれだけ驚愕と茫然自失に陥れた事でしょうか、大地震、津波、原発放射能の恐怖など、私は鬱状態（弱者への涙）から抜け出していません。当たり前の毎日のリズムが壊れ、何も出来ない状態で仕事も休業状態が続く、早く復興への道のりに移行する事が望ましいのですが、日本人の心、惻隠の情に駆られ、どうしても鬱から脱却できないのは、私だけではないと感じています。

岩手県陸前高田市気仙町の成田山金剛寺で「復興のスタート・花見供養」陸前高田さくら祭りが開催されました、太鼓だけが津波で戻り、太鼓の叩き手は津波で流され亡くなり、それを忍んで慟哭の涙で、他のメンバーが演奏したとの事です。東北地方が一日も早く立ち上がるのが、私達の切なる願いです。

南房総LCメンバー那古寺住職㊦石川良和から例会で、地元から「今年の祭りは中止自粛するのか」との問いに、「そもそも祭りとは、自然災害への恐怖等から神の怒りを鎮め、平和への願いを祈ることが祭りなのだ、飲んで食って騒ぐだけの祭りならやらない方が良い」その言葉から自然災害に立ち向かうためにも、神鎮めの祭りが必要なことを改めて感じました。

天皇陛下並び各宮家の方々も、Noblesse Oblige（ノブレス・オブリージュ、高い身分を持った者は、それに相応しい振る舞いを求められる、弱者への義務）で、体調不良を推して、避難所を回られておられます。これからは、被災地入りをされるとも伺っております。両陛下こそが、国民の平和と幸せを、儀式と共に、神に毎日のように祈られているのです。

また、ガンバレ日本、やればできる…。私ごとになりますが、娘がスポーツで大会優勝を目指して頑張っているとき、同じ言葉で励ましてきた、その娘から言われたことは、最大限頑張っている、これ以上頑張れと言われたくない、心が折れてしまうからと…。

先日、釜石へ行った時、支援物資のトラックから荷下ろしを手伝ってくれた方は、家族3人亡くし、それでもその苦悩も見せずに、額に汗して荷物を下ろしてくれました。会う人皆さん、家族身内や家を亡くした人が、私達を迎えてくれました。過酷な被災現場で気丈にも頑張っている、それだけに言葉だけで頑張れとは言えないことを、現地入りして肌で感じて帰って来たのです。

私の座右の銘として、一隅を照らす「一燈照隅」その心とは、それぞれの個々の立場で、地域社会に貢献する。一人一人が足元を照らすことで、国、千里にも及ぶ全てを照らすことが出来る、これが国の宝である、と解釈しています。

今まさに、私達国民に求められていることは、自分の出来る事を争うことなく、一所懸命日々の努力を行う事が復興へのプロセスであり、こうした一人一人の意識が、国の品格を決定し、新たな国際社会となり、希望と未来ある新しい国に、邁進して行く事だと思います。

1 R事業報告

1R リジョン・チェアパーソン L 杉沢 秀一

この度の東日本大震災で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、各クラブが震災後に早々に駅頭募金などの支援活動を実施していただき、誠にありがとうございました。

リジョン・チェアパーソン職を拝命してから10カ月がたちました。この間、各クラブへの訪問、ガバナー公式訪問、諮問委員会へ参加を通じて、各クラブがクラブ会長のリーダーシップの元、事業方針に基づきつつがなく活動していたことをご報告いたします。

各クラブの事業は地域福祉のため、青少年健全育成のため、また長年継続している事業、あたらしく本年度から始めた事業など様々でしたが、自分が直接事業に参加してみたり、事業の報告を聞くたびに、事業を行うことこそがライオンズにとって最も重要なことだということを実感した一年でした。



また、9月には浦安シーサイドライオンズクラブCN25周年、2月には市川ライオンズCN50周年がありました。そして、3月には市川フロンティアローズシニアライオンズクラブの結成式が行われ、慶事の多かった一年でした。



最後になりましたが、今後は1Rのクラブ同士が、合同事業や合同例会の実施、各クラブ訪問等を通じて今以上に緊密な関係が出来ればと思います。一年間ありがとうございました。

3R今年度の活動報告

3R リジョン・チェアパーソン
し小田部 光子

この度の東日本大震災で東北地方の方々はもとより、333-C地区の中で被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

今年度の3リジョンの活動報告をさせていただきます。

東日本大震災に対しての活動に関しては3リジョン中では各クラブが直接、物資を届けたり義援金をあつめたり等、迅速に活動しておりました。

3リジョン合同として、福島県いわき市方面より、放射能汚染の恐れのある地域の人々を柏市が福祉会館に300人受け入れた際には、炊き出しをしたり、2日間にわたり柏市内の案内を致しました。

急な召集にもかかわらず多数のメンバーがお手伝いに来てくださり充分なボランティア活動が出来、3リジョンの底力を感じた次第でありました。

震災直後、世間ではもちろん、ライオンズでも色々な催しが中止となりどの場でも自粛ムードになっておりました。日常生活においても物やガソリンが不足し前向きに行動することに皆が躊躇しているときでした。そのような状況でしたが、ライオンズクエスト委員渡来ライオンの熱意により3月25日にライオンズクエスト体験会を開催することが出来ました。



先生方がどのくらい出席できるかがとても心配される中20人以上の先生方にお集まりい

ただきライオンズクエストへの関心の高さがうかがえました。

波木委員長のライオンズでの青少年育成の活動説明の後、講師であります橋爪ライオンへの講義に入りあっという間の3時間でした。

質疑応答も活発に行われ盛況に終わりました。この体験会が次年度へつながればと思っています。



本開催が成功したことは準備から最後まで渡来ライオンをはじめとする沼南ライオンズの皆様のきめ細かい活動のおかげです。本当にありがとうございました。

最後になりましたが1ゾーンのゾーン・チェアパーソン仙田ライオン、2ゾーンのゾーン・チェアパーソン辻ライオン、PR鍋木ライオンには大変お世話になりました。何よりも3リジョン皆様の行動力の速さに感謝しました。一年間ありがとうございました。

4-ARの東日本大地震に関する 取り組みについて

4-AR リジョン・チェアパーソン
L志村 光永

この度の東日本大地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、皆様がたが一日でも早く日常生活に戻られることをお祈りします。

4-ARでは、3月11日の大地震の後すぐに、各クラブより、ライオンズクラブとして、何かできることはないかという声があがり検討した結果、街頭募金をすることになりました。

街頭募金は3月20日と27日の2回行われ、9クラブが参加しました。



街頭募金の様子



街頭募金の様子



街頭募金の様子

募金総額は総額200万円ほどになりました。

また、この街頭募金以外にも、いくつかのクラブは被災地のライオンズクラブと連絡をとりあって、支援物資をおくるなど精力的に活動しています。



被災地に支援物資をおくり届けた船橋LC会長
相馬地区

この支援活動はこれからも長い間必要とされますので、全クラブ力をあわせて続けて行きたいと思っています。

4-BR震災支援クラブ報告

4-BR リジョン・チェアパーソン
L 矢崎 勝彦

東日本大震災では地区内の多くのクラブやメンバーが広範囲な被災地へ直接、間接に様々な支援の手を差し伸べている現実にはまずは敬意を表します。特に10回を超える被災地との往復を重ねて支援を続ける大網白里LCの角河博文ライオンのパワーには圧倒され、まさにライオンズの鑑そのもので敬服するばかりです。また、L角河提案による釜石支援「就職支援相談会」では、4-BRの会員3企業のうちで3人を受け入れる予定で鋭意進めています。

4-BRでは若いクラブの動きがよく、結成9ヶ月の白井あすなろLCは、3月12日クラブ内の安否確認にいち早く反応し、日常のメンバーミーティング体制が有効に機能したようだ。翌日から募金活動の準備を進め、3月24日、29日の2日間駅頭募金を実施し14万円を旭市へ支援した。更に、中止の年次大会登録料をも支援金に当てた。



又、結成14ヶ月の鎌ヶ谷飛翔LCは13日に安否確認中、病院職員である会員が既に緊急援助隊として被災地にいたことを確認した。駅頭募金は、21日から8日間続け計977,866円の支援金を岩手、宮城、福島県の3県へ等分に支援した。これには、槇の木LEOクラブや青年会議所の

協力も得ている。両クラブが低額会費の中で自分たちでできる資金獲得事業として実践した事業だったと思う。14日には2年8ヶ月の白井シニアLCが安否確認した。何れも若いクラブで、早い段階での安否確認がメンバーの絆を強く支援活動の結束へ結びついたようだ。

他に、船橋北LCが3月27日・30日に駅頭募金をし、120,000円を被災地へ支援。鎌ヶ谷LCは震災支援チャリティゴルフ大会を開催し、100万円を鎌ヶ谷市を窓口にして日本赤十字社へ寄付した。又、台湾の姉妹クラブからの支援金を預かり目下支援先を検討中の2クラブもある。紙面の都合で他のクラブ活動報告を割愛することをご容赦ください。



5R震災支援クラブ報告

5R リジョン・チェアパーソン L岩沼 忠伺

今期の5リジョンは、地区ガバナーの輩出、3ゾーンのリジョン独立と3ゾーンが核となった1年間でした。333-C地区内の会員の皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。



また、このたびの東日本大震災におきまして、多くの命が奪われ、被災地の復興も先が見えず、それに加えて原発の事故と、1人の人間としてなにが出来るのか、ライオンズクラブとしてなにをすべきか、333-C地区としてどう活動していくのか、5リジョン内の各クラブは、3Zは合同で3月20日に飯岡まで災害ボランティアに行きました。千葉ゆうきのLCは飯岡LCと332複合地区に義捐金を持って行きました。千葉グリーンLCは震災後連日駅頭募金を行いました。千葉ネオLCは、3月14日に被災地へ災害支援物資を送り、3月20日は旭市へ災害ボランティア、3月27日は福島県猪苗代町で、日本ライオンズクラブの支援物資配送協力及び災害

支援物資配送、4月10日は宮城県石巻市へ災害支援物資配送、4月29日から5月3日まで、宮城県石巻市方面と岩手県陸前高田市方面に、自転車50台と災害支援物資配送及び復興ボランティアを、メンバーとオブザーバーで行いました。



震災発生直後から貴重な情報を発信し続けている、地区IT・ALERT委員長L松本幸史に深く感謝を申し上げます。今後数年続く333-C地区の災害支援活動の中心になってください。

6R・新入会員研修会報告

6R リジョン・チェアパーソン
山本 真巳

平成23年2月24日(木)雨天模様の中、6Rの新入会員研修会が、八街市八街に66-2の社会福祉法人開拓・介護予防スポーツ施設で開催された。18名の参加者には、ご遠路の研修会にご参加を賜り、まことにありがとうございました。



参加者集合写真



研修風景

また、拙いご説明等をお聞きいただき恐縮しております。

しかしながら、当日ご多忙の中、ご指導等いただいた地区指導力育成・長期計画委員会

の山本であればこそその研修会としての品格を保てたものと感謝と安堵をしております。

研修の打ち上げとして、施設内のパターゴルフ場で、豪華(?)参加賞を目指した親睦パターゴルフ大会も開催され、友愛の育成等におおいに役立ったと思います。

研修会が、些かなりともライオニズムの一端をお伝えできたのならば幸いです。



パターゴルフ大会風景



成績発表後のあふれる笑顔

7R「歴史、歴史毎の想定外」

7R リジョン・チェアパーソン
L池田 忠宏

この度の東日本大震災で被災された方々に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

当第7Rも被災地域に指定される被害を蒙りました。一日も早い復旧を願う限りですが、地域により復旧で良いのか、復興なのか、至急に都市再建計画の策定が必要と存じます。



今回の大震災に際しましては、333-C地区の義援金を含む支援活動の内容につきTEL、FAX等一切の連絡が無く、被災地域に指定されている第7R RCと致しましては非常に苦慮致しました。

3月23日FAXにて5,000円以上（任意）の支援金拠出要請が配信されましたが被災地区の7Rとして、支援先が判明する迄は送金保留の処置を決定いたしました。

4月15日、G発FAXにてお見舞金の贈呈先が判明致しましたので支援金の送金保留処置を解除し、全クラブに対し地区指定の口座に送金するよう連絡を致しました。



緊急事態発生時には、優れたライオンズクラブの組織（組織図）を最大限に活用し、的確な情報を提供すれば、事態に対し円滑な対処が出来るのではないかと存じます。



本年度、上期はRCとして、7R内地区役員の同行を頂き、全19クラブの例会訪問を実施し、誠に有意義な活動をする事が出来ました。地域の団結、友好は地域社会に奉仕するとのライオンズクラブの原点でございます。

各クラブ共、主なるACTは2月迄に終了し多大な成果を挙げておられます。

下期につきましては、未曾有の大震災がございましたが、各クラブ1名以上の増員を果たし、L竹下ガバナーの最終目標に報いるべく、最善の努力をしております。

何とか目標達成できますよう祈念申し上げます。

8R被災地への支援報告

8R リジョン・チェアパーソン
栗田 秀美

このたびの東日本大震災において、被害を受けられた皆様に謹んでご冥福とお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

私達8リジョンでは、この震災に対しどのように支援をしていくかを3月21日に10クラブの会長、1ゾーン・2ゾーンのゾーン・チェアパーソン、IT・ALERT委員、そして私で協議をしました。被災地があまりにも広く被害が甚大な為、一過性の支援ではなく期間の長い支援をしていくことにしました。そして、まずは身近な所から支援をして行くこととし、千葉県内で一番被害の大きかった7リジョンのエリアへの支援を決めました。



支援方法は各ゾーン毎に決めて頂き、1ゾーンは4月と5月に木更津市・袖ヶ浦市の人の集まる公園の清掃を行いながら募金活動を行いました。2ゾーンは各クラブが独自にチャリティゴルフや募金活動などを行い上総ライオンズクラブ、君津ライオンズクラブ、君

津レオクラブ中心となり多額の募金を集めて頂きました。そして、5月8日の代議員総会の前に7リジョンの方々に両ゾーンから総額1,055,313円をお渡しすることが出来ました。



私は、今後もクラブ単位、ゾーン単位、リジョン単位で継続的な支援方法を協議し、なるべく早く行動して頂くよう、8リジョンの皆様をお願いして行こうと考えています。

なぜなら私たちは世界最大のボランティア団体であり、私たちのモットーはWe Serveなのですから。

9Rリジョン・チェアパーソンの任務を終えるにあたって

9R リジョン・チェアパーソン
L 早川 金光

私個人的なことです、3月11日の地震発生時は東京にいて、車を運転していました。いきなり車が揺れ始め、車が解体してしまうのではないかと感じてしまうほどの衝撃を受け、やがてこれは地震だと気が付きました。このことは生涯に渡って忘れないと思います。

私の会社は海岸から僅か100mもありません。あの8～10mの大津波が旧・千倉町を襲ったら、私の会社はすでにこの地から消滅していたはずです。残ったことに安堵しております。

今はこの大震災で被災に遭遇した千葉県内のライオンズクラブ関係者並びに、多くの皆様に心からお見舞いを申し上げますと共に、早い復興を願っております。

私の地区9リジョン内では被害にあわれた会員はいなかったようであります。ご報告申し上げます。

今年度も残り僅かとなりました。リジョン・チェアパーソンとしての役職も間もなく終わろうとしております。2人のゾーン・チェアパーソンに支えられ、地区内8クラブの会長並びに、全会員の皆様のご協力が無事に任務を終了することが出来そうです。感謝しております。ただ、心残りはこの地震の影響で、5月15日に開催を予定していたJAXA・的川泰宣教授による「記念講演」が中止になったことです。



10R奉仕活動報告

10R リジョン・チェアパーソン
L 渡邊 正雄

この度の東日本大震災で犠牲になられた方々に対し哀悼の意を捧げご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された皆様に対しお見舞いを申し上げます。

大震災復興に向け様々な支援、協力が必要です。10リジョンでは第2ゾーンの大網白里ライオンズクラブで特別委員会を単独で設置され、L角川委員長を中心として支援物資及び支援金を被災地（岩手県釜石市）へ直接送り届ける活動を実施しております。

3月20日を第1便として、4月10日に第5便そして4月24日には第8便を実施し尚現在も続けております。また個人数名の方々より支援金を預かり届けています。支援金、物資はもとより194時間に渡る労力ACTに対し敬意を表するとともに、当第10リジョン第2ゾーンの協力頂いた各クラブに対し感謝申し上げる次第であります。また第2ゾーンでは大網白里ライオンズクラブ、東金ライオンズクラブ、千葉九十九里ひまわりライオンズクラブとの合同にて駅前等に於いて支援金の募金活動を2回にわたり実施しております。



早速荷下ろし作業・仕分けをして避難所にお届け

この度の震災支援金及び支援物資として10リジョンでは3月に3,953,435円（内訳：大網白里LC 3,453,435円、茂原中央LC 500,000円）4月に4,826,335円（内訳：大網白里LC 3,510,935円、東金LC 101,400円、九十九里LC 100,000円、山武LC 600,000円、千葉九十九里ひまわりLC 514,170円）であります。また当リジ

ン内の被災地に対しての支援金は九十九里地区→九十九里LC、山武地区→山武LCそして白子地区→白子LCでそれぞれ実施しております。

今後も暫く支援をお願いすることと思います、皆様の御支援御協力をお願い申し上げます。



丁寧な相談に生徒も安心したようでした

第10リジョン主なアクティビティの報告

- 上総一宮LC：チャリティーゴルフ大会の開催、薬物乱用防止指導教室の実施、献血
- 茂原長生LC：市民センター祭、焼き芋販売2回
- 白子LC：蛍飼育作業、学校支援、さくらまつり協力
- 茂原中央LC：長生厚生園へ設備の寄付、献血
- 大網白里LC：サッカー大会支援
- 山武LC：柔道大会支援
- 千葉九十九里ひまわりLC：YCE生派遣及び受入、駅3ヶ所清掃、海岸清掃

今後のリジョンの活動としては6月7日にJR各駅前にて「薬物乱用防止キャンペーン」を第2ゾーン合同アクティビティとして実施予定。

333-C地区・東日本大震災の取り組み 「女性支援対策本部」立ち上げ報告

女性支援対策本部長 第2副地区ガバナー
L長澤 千鶴子

この度の東日本大震災に於いて、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

被災地より女性用品の緊急要請が女性クラブに有り、3月18日に送付させて頂きました。

これを受け、333-C地区ガバナーL竹下徳永の下、女性として出来る支援の輪を、千葉県内女性10クラブを招集し、3月28日「女性支援対策本部」を立ち上げました。

2011年4月

【福島県猪苗代・岩手県釜石市・岩手県東磐井郡＝女性下着・紙おむつ・お尻拭き・粉ミルク・衛生用品・野菜・海苔】を約150万円分送付させて頂きました。

4月9日(土)・10日(日)は、災害直後から、幾度も釜石ライオンズクラブに支援物資をお届けしている「大網白里ライオンズクラブL角河博文」の支援便に、第1副地区ガバナー・L金井一夫、地区IT・A・L・E・R・T委員長・L松本宰史と私の総勢9名で物資と共に伺いました。

今回の訪問目的の一つに、企業や自宅が被災に遭い、進学や就職の変更が余儀なくされた方達への「就職支援相談会」が開かれ、新卒者10名の相談を受けた。

2011年5月

釜石市内に正規採用が殆んど無く、関東への就職希望者も有り、千葉県での相談会を開き9名を迎え入れました。尚、ご多用のさなか、釜石ライオンズクラブより、元地区ガバナーL種市一二・元地区幹事L大和田助康・事務局野田春美さんの御同行を頂きました。

【10日PM7:00・アパホテル東京ベイ幕張到着】

【11日PM1:00～4:00・採用企業面接会】

【12日AM10:00～7:00・県内職場見学面接会】

【13日AM10:00～9:00・TDR・昼食激励会】

11日は8社の面接が行われ女性7名全員が採用となり、企業は全てライオンズメンバーで採用を前提に検討して頂き、今回の使命を果たせた事に深く感謝申し上げます。



又、被災後の心のケアが出来ればと13日は、元地区ガバナーL内田千尋の御協力を頂き東京ディズニーランドの一日と、会員制クラブ・レストランで素敵な昼食を楽しむ事も出来ました。

又、4月10日の「釜石での相談会」に共感したNHKより二日間の密着取材を受け、12日夜の番組で放送となり、釜石では、これを機に県の取り組みで他県へ就職支援が始まったとの事です。

「女性支援対策本部」に多くの皆様方のご協力を頂き、改めて感謝と御礼を申し上げます。





明るい未来のために — 楽しいクラブづくりを —

流山ライオンズクラブ

ㄥ皆川 春安



ライオンズクラブが奉仕と友愛を掲げて発足してからもう1世紀に近い。人類が長い年月を生き抜いてきた陰には他人に対する「思いやり」があったからだと思う。常に老若男女を問わず暖かい気持ちで人を近づけるのである。

ヘレン・ケラーは体が不自由にも拘わらず、進んで人の輪の中に入って「思いやり」を説いた。自らのハンディを押しつけて人の幸福を願った。なかなか出来るものではない。人の輪が大きくなってライオンズクラブを作っていった。人類の続く限り絶えるものではないと思っている。

日本に誕生したのは1952年と云うからもう60年近くにもなる。戦後に考えを変えて世界に目を向け一時はメンバーが15万人にもなったが、いろいろの事情で減少してきた。高齢化も一つの原因かと思うが頑張っているメンバーだって大勢いる。シニアクラブの活躍は目覚ましい。年をとって侘しい生活するよりも、仲間から貰うエネルギーは無限の喜びだ。生き甲斐すら湧いてくる。それもこれも仲間を思えばこそこの「思いやり」である。結局は自分に帰ってくるものなのだ。輪の中に若者を入れればもっといい。ただ、若いものから見て魅力があるかどうかが問題である。

ところで日本の故事には必ず天照大神がでてくる。岩戸に隠れた大神は戸の外の様子が気になって仕方がない。外は笑いの渦であったそうな。何だろうと思って覗いたら急に辺りが明るくなったそうな。めでたし。めでたし。

ライオンズクラブの組織のなかにはテイル・ツイスターがある。例会ごとに趣向を凝らして話題を見つけてくる。お笑い芸のようだが、なかなか出来るものではない。だからわがクラブでは会長経験者に白矢が当たる。これは人心を掌握した人だけが出来ることであり、トップの経験者が面前で芸人になると云うのはめったにないことで、ライオンズクラブ上下関係をうまく処理出来ると云う点では最適の人物ではないか。食事の後は憩いの一時であり、この楽しい時があるから会は持続していると云っても過言ではないと思っている。

さて、今一番気になるのは会員増強である。わがクラブの場合、最近の若い新入会員は決して退会はしていない。多分それは古いメンバーと若いメンバーの関係がうまくいっている証拠である。何事にも積極的に若手を前方に出し、経験してもらう機会を多くすることである。最初はぎこちないようでも先輩会員が手を伸ばし、テニオハを手ほどきすれば、いずれ自信を持つようになり、やがてクラブが育ての親になって一人前の人になってもらう。この辺りやはり人間性から出発していることに気づきその原点は常に「思いやり」に戻ってくる。いつでも問題が起これば原点に立ち返り、素直に再出発をすることが必要であらう。

笑う門には福来たる。いや、笑う門には必ず会員来たる。

ライオンズクラブの明日を考える 「私達の目的は何か」

柏ライオンズクラブ

し吉田 隆雄



今日本のライオンズクラブは、昭和50～60年代の頃のような元気を取り戻せないでいる。1つは、会員の高齢化。もう1つは、年代的に続く会員の獲得に苦戦していることである。We Serveと言うモットーを掲げながら、地味すぎて活動が理解されていない。目立つのが目的ではないと言えなくもないが、地域から評価されてほしいと思う。目立たないが会員増に影響していると思ってしまう。ライオンズは、事業の1つに青少年健全育成を長年取上げている。特に薬物乱用防止運動は、小・中学校と直接関係出来るものとして、とても良いものだと思う。日頃、学校には関係者以外生徒を対象に何かを行うのは難しいがライオンズクラブなら学校も信用してくれる。生徒達に、ライオンズクラブと事業について理解してもらえたら長い話ではあるが次世代の会員育成も兼ねた事業としてもとても望ましいことである。しかし、会員減少などから1クラブでの負担が大きくなることも考えるとゾーンで、又リジョンで取組んでもよいのではと思う。3Rにはそのようなことも話題になりつつある。

私達は、日頃の運営の中で形を求めてしまう。なのに曖昧な日本人と言われてしまうのはなぜだろう。少し前のことであったが、米国で姉妹クラブの例会に出席したことがあった。昼間でしたからお互い忙しいのか、三三五五集って来て時間でゴングが鳴った。会長の挨拶もあり続いて来賓の紹介があると思ったのだがそれもなく、あちらこちらでグループ的な話が続き例会中止むことはなく閉会のゴングが鳴ってしまった。元ガバナーの寺嶋周三しと一緒にあったので尚更強く感じたが私にはなかなか理解出来なかった。夜の例会ではないので、それぞれが忙しいのかなーと思うのが精一杯で、お互い元気で無事を確認仕合っているのだと受止めた。

私は、1966年30歳で入会したチャーターメンバーで、世代交代も進み当時の人は2、3人になってしまったが現状を考えると5年も10年もまだ頑張らねばと思ってしまう。しかし、こうして残っている人達が多いと老齢クラブと言われてしまい片身が狭く思ってしまう。とにかく、次に続く若い会員が入会してくれないと存続が危ぶまれてしまう。一步一步ではあると思うが、小学生や中学生にも触れ合うことで、ライオンズクラブの理解につながり発展して行ければと思う。

私は、6月胃ガン手術で入院した折り、中学時代からの友人仙田秀一しから、「ニーチェの言葉」という本を贈られた。カバーには、“人生最高に旅せよ”と書かれていました。

その中から一文を紹介します。

「人の欲しがるもの」住居を与え、娯楽を与え、食べ物と栄養を与え、健康を与えたところで、人はまだ不幸と不満を覚えるだろう。人は圧倒的な力というものを欲しがっているのだ。



ライオンズの明日を考える

船橋ライオンズクラブ

Ｌ内山 敦子



明日のライオンズがどうあるべきか、どうあったら良いのか？多分それは会員が増え、結果、アクティビティーの資金が豊富であり大らかな気持ちで「みんなの笑顔が見られる事業が展開され、笑顔が広がり、自分達も元気をもらおう。」こんな構図が描かれますが、いかがでしょうか？

私自身は8年の在籍となりますが諸先輩に比してはまだまだビギナーでしょう。お誘いを受けて入った会は4人のガバナー経験者が毎回出席するという、今考えますと大変な会、その中で2回の会長、キャビネット副幹事、ライオンズクエスト委員、CN50周年幹事と勉強させて頂きました。2度目の会長の折には「ガバナー感謝状」を頂きましたが、「私などがどうして？」という問いに時のガバナーは「貴女のやっている事は点数にならない。しかし古いクラブにありがちなマンネリ化を避け、新しい事業に挑戦して成果をあげていることです」と。何とか恙無くお役を全うすることが出来ましたことは正にクラブ員の協力と尽力、そしてとりわけ諸先輩の暖かいご指導と励ましによるものに相違ありません。動植物、物事すべて次々と世代交代をなし、その成果が問われるものです。

ある時から我がクラブは若い会員の入会が相次ぎました。

それは拍手して喜ぶべき事です。しかし今後この方達が気持ちよくクラブに馴染み、やがてクラブを率いていってくれる様になるにはどうしたら良いのか？若い方達に対する答えを明確にすることが出来ないで居りました。

しかし本年11月30日、ライオンズクエスト委員として、生け花の授業に行っている中学校で体験会をさせて頂きました。熱心な校長先生は近隣の若い先生方にも声をかけて下さり14名の方が参加され、中で3人の先生から感想文が寄せられました。私はこの事により感動と達成を得、と同時に、これからの若いライオンズに対する必要な何かも見えた気がします。それはこの様な文章でした。

「全体を通して感じたことがある。それは「心の安全」です。ライオンズクエストの中で否定されたり、間違った発言はなく、何を言っても、何をしても良い環境が先生によって作られていると感じた。安心してその場にいることが出来、積極的に参加することが出来た。「心の安全」が守られる学級、学校では生徒に活力があり、いじめ等がなくなるだろうと感じる。生徒に安心感を与える為にはどうしていけば良いのか考えたく思っている」

入会者の誰もが自分の出来る奉仕をしようと純粋に思っに入って来るでしょう。その様な熱意が安心して発揮出来、形になっていく喜びは大人も子供も同じだと思えます。

「ライオンズってどういうところ？」と聞かれた時、私は「やりたい奉仕事業を応援してくれるところ」と答えている。金銭的には個人が多く負担することなく、チャリティーショー等で楽しみながら広く薄く資金を調達することだと考えている。そして奉仕の中身が見え易いこと。

多くの人材を迎え入れ年長者は惜しげなく知恵を与え暖かく育む、そうしてＬ字は引継がれ、ライオンズは永遠となると確信します。

2010.12記

ライオンズの明日を考える

船橋中央ライオンズクラブ

〓 鈴木 利一



地区が分割された30年前はライオンズ活動が頂点に達していた時代と考えております。地理的に離れていたため会員またアクティビティーの内容が異なり互いに新鮮味と言うか興味を感じておりました。又、各種大会、委員会を行う際、日程時間的に宿泊を伴い観光等も兼ねて参加して会員の親睦に図ることができ効果的な組織形態であったと思います。さらに地区のスローガンも単純明快の一言、原点復帰、緑こそ命、伸ばそう青少年の芽という事で継続される事が多々ありました。各クラブはその目標に向かい精進して数多くの実績を残してきました。

さて、分割されてから時代は大きく変わりライオンズの活動も多種多様性に富み一時期は市民から期待される団体として相当の評価を受けておりました。しかし近年は様相が変化しているようです。この事は今迄ライオンズが行ってきた各種の事業、身障者、都市緑化、環境、青少年の社会教育等が今はすべて行政県市町村がきめこまかく行い、ライオンズが行っている事は小さく片隅に置かれマスコミにも一般市民からも何をしているのか分からないのが現状です。これがため今後もこの素晴らしいライオンズ活動を発展させ市民から期待され、マスコミから受入やすくするには如何するか、事業と運営について申し上げたいと思います。

まず事業について

一つの方法として地区、リジョン、ゾーン、数クラブ単位で合同アクティビティーを行うのが良いと考えます。合同でする事により大きな事業を展開する事が出来、広報啓蒙も多くの会員が同じ事をする事によりすべてにおいて効果的に行う事ができる。

二つとして行政が行う事業に積極的に参加する事である。一昨年船橋市において秋篠宮殿下をお迎えして全国緑化フェアが開催された。市内クラブ、各個人会員の協力により大会は成功裡に終了した、その評価は絶大なものであった。市民からは緑化フェアはライオンズが主催して行っていると思われ、マスコミは何回となく報道掲載され、行政もライオンズに対する認識を新たにしました。

又、船橋市内7クラブが行う都市緑化緑と花のジャンボ市は市とライオンズが予算を折半して春秋2回開催し36年間73回を継続して行っておりますが市民からはライオンズが行っていると見られています。

3つとして学校教育に参加する事です。校内緑化、施設の助成、弁論大会、ホースセラピー等の教育予算が不足しているものが多々あります。ライオンズはこれ等のものを直ぐに行動実行して加えて継続して行う事は効果的なアクティビティーであると思います。

次に運営について

地区スローガンは分割前の様に単純明快に提示するのが良い。分割後のスローガンは一部を除き理解し難い詳細に分析するとライオニズムが溢れていますがスローガンに沿ったライオンズ活動やアクティビティーを考えていると1年が終わってしまう。またライオンズの目的は一つであるのでスローガンは2～3年の継続性があるのも一策と考えます。

簡素化とか改革といって伝統的な事を壊してしまうケースがありますが破壊からは何一ついいものが生まれていない、今後のライオンズは事業も運営も継続合同が発展の手段となります。30年を契機として市民から期待されるライオンズを願うものです。



ライオンズクラブの明日を考える

船橋シニアライオンズクラブ

田中 稔



2010年12月1日

独立して30年、諸先輩たちの汗と誇りで築かれた功績。記録と記憶が333-C地区の基盤として息づいている。333-C地区から発信された心ある奉仕は国内はもとより国境を越え世界に浸透している。

「We Serve」この言葉が世界の人々に心の通う合言葉。この言葉の重さは心の大きさと深さでどれだけの人々に生命と勇気と希望を与えたか計り知れないと確信しております。

私は、クラブに入りまだ5年足らずのライオンズマンです。この築かれたレールの上をただ走っているに過ぎない一会員ですが、30周年を節目にこのままでいいのだろうか？明日のライオンズを考えると少々考えなければならないと感じるようになりました。

30年の流れの中で財産として蓄積されたノウハウも、さまざまな分野で社会の変化に対応すべき点に軌道修正をしていかなければならないと考えるからです。それは規則に縛られ処置をしなければならないところを規則にそぐわないという事で放置されてしまった分野もあるようにも考えられる。現状どおりに進行するのであれば、波風なく平穏で楽ではあるが、これでは進歩も発展もなく蓄積された財産は目減りしていくことになるだけでしょう。

言い換えれば30年という時間に流されて気が付かず見えなくなってしまったこともありましょう。

蓄積された財産を活かすも、殺すも、しっかりとした分別をし、歪んだ部分を修復しなければなりません。

明日のライオンズをどう考えるかと言う前に、今、ライオンズは社会からどう評価されているのか？どう見られているのか？課題は何か、これを理解しないであすのライオンズの展望はひらけない。

まず現状を整理し、そして足元を固め、進むべき道標を明快に示す必要がある。

道標とは、短期、長期のビジョンを掲げ、会員に対し進むべき道の「コンセプト」をしっかりと理解、浸透させることが大切です。そして社会に「We Serve」の精神を的確に情報発信し、真のライオンズクラブのファン創りをすることが大切です。

新たなことを施行しようとするれば、さまざまな障害という大きな壁にぶつかることも十分予想されるが、ひとつひとつ勇気を持ってクリアーしていく努力が必要である。

第1の視点は・・・クラブと役職の期限

1. 役職が1年限定であること
2. 輪番制で何回も同じメンバーが会長（又は3役）を歴任。
3. クラブの活性化に陰りが（マンネリ化）
4. 会員の減少傾向（会員増強は永遠のテーマ）
新クラブ誕生もあるが、全体的に減少しており退会防止に力を注ぐ現況でもある。
5. 活動状況を内部はもとより外部（潜在顧客）への情報発信不足
6. チャリティイベント（事業資金の考え方など）
（仲間同志のギブアンドテイクでは限度がある）
7. 各クラブ間の人事交流

第2の視点・・・組織の改定（特に人事）

- ・会の運営には最も適した人材を選出すべきである。
人には得て不得手があり適材適所に配置することが望ましい。
（役職の1年限定がネック）

ライオンズクラブの最大の武器は人材である。この武器が威力を発揮し多様な知恵を出すことに不可能を可能にかえることが出来、明日の道筋が見えてくることを確信いたします。人事というデリケートな問題には、それなりに議論と時間が必要かとおもいます。

先ず上記に掲げた二つの視点である課題を討議し、諸問題の解決こそが明日のライオンズクラブに必要な要素といえましょう。

以上。

ライオンズクラブの明日を考える

市原ライオンズクラブ

西村 和男



We Serve（我々は奉仕する）奉仕は会員個人が日常、職域や人間関係を通じて行うことでなく、クラブのチームワーク、同一地域での協力することによって有意義となり、効果を収めることができる。我々はこれをアクティビティと呼ぶと必携に示されている。「ライオンと呼ばれるにたりる人」私達のめざすべき人物像が「ライオンと呼ばれる人」に集約されている。ライオンズマンはこの永遠のテーマを描き、その目標に向って日常の奉仕活動を行う事が求められている。私達はめざすべき人物像を描いているだろうか。近づく為の努力を行っているだろうか。

人は物質的豊かさを求め、戦が今も繰り返されている。すでに十分すぎる学習を積み重ねたにもかかわらず、国も個人も変っていない。すでに量的豊かさが全てであることが愚かであると知る時代に入っているにもかかわらず、新たな物欲は再び人の心を変貌させ貪っている。人間の性は歴史を経て繰り返す新たな悲劇を生み出している。理性と知性による抑制の効いた社会をいつになったら築くことができるのか。私達は本来の価値を知ってアクティビティを行っているだろうか。太陽の光がほしい人に私達は多数で日影を作っていないだろうか。水を汲み上げなくてはならない土地に大水を流していないだろうか。事の本質を求め、中身を十分に理解しているだろうか。奉仕はおしつけであってはならない。私達は自由と言つつ自由の重さと責任を分かち合う謙虚な気持ちと尊敬の念をわすれていないだろうか。自由は自然にあたえられたものではない。自由を得る為に多くの人々の命が代償となった。私達はこうした人々を忘れてはならない。ライオンズクラブの精神は、このことが永遠のテーマである。地球のどこかで今も戦が続いていることに私達は共に悲しむ事を無くしていないだろうか。解決出来ない多くの事柄の中で出来る事は限られる。ドネーションはこうした意味では重要な役割を持っている。だが、このことが全てになっていないだろうか。

次の時代に向け私達は何をすべきか。一人一人の英知で今日よりも半歩前に進むことを創造しよう。明日の為に私達は何を残すべきか。互いの知恵を出し合い明るい未来を作ろう。戦さの無い社会を築く為に人が人として生かされる社会を築く為に人として喜びあえる社会を築く為に夢を語りあえる社会である為に私達は未来の大人達の為に知恵を働かせ救いの手をさしのべる必要がある。

「我々は奉仕する」だれの為に、それは全ての人々に生きる権利が保障され、生きる価値が保障される社会を築く為である。私達は全ての人々が小さな幸せを積み重ね喜びのある人生をおくる事が出来ればと願う。その為に何が出来るのか何をすべきなのかを互い知恵を出し合い研鑽することがライオンズクラブの明日につながると思料する。



45年の在籍を顧みて

市原南ライオンズクラブ

Ｌ 齊藤 義雄



平成22年12月8日

ＬＣ（ライオンズクラブ）のクラブ運営は国際協会の会則に依って行われている事は、衆目の一致す処ですが、私の45年のＬＣ歴の中で自分なり感じる事は、必携にも有ります通り、メンバー同志の友情であり、絆である、相互理解の精神に有ると思います。この一線が崩れると、クラブ運営はうまくゆきません。最悪の場合は、退会まで発展する可能性があります。思うに、メンバー各位は、それぞれの地域に於いて社会的地位、賢識等の持ち主であります。従いまして、例会に於いても意見の相違に依る衝突は当然であります。併し乍ら充分なる討議によって、一つの結論に達した時、その結論を順守し、自己の意見の相違を乗り越えるこそライオンズマンと言えるでしょう。

私共のクラブに於いても長い歴史の中には対外的に発表できない様な、事件、事故が発生した事があります。その難局を乗り越えて今日有るのは、メンバー同志の強い絆であり、相互理解の精神によると確信致して居ります。

又、私は多くのメンバーの入会、退会に接して居りますが私の入会当時は、ＬＣの知名度は今一つでしたが最近では各地域にクラブが誕生しその世界的な奉仕団体の活動ぶりは広く知れ渡って居ります。従いまして、新しく入会される会員は、地域社会に奉仕という新しい分野の活動に胸、ふくらまされて居ると思います。併し乍ら入会頭初は新人と言う遠慮や、馴れぬカタコトの英語の連発で例会に於いてもつつい発言が控え目になり勝ちですが……。

この様な状態を長く続かせる事は大いに危険です。既存会員は一日も早く新会員の居場所を作ってあげる事が必要不可欠です。そして、クラブ運営の一員であり、大、小にかかわらずその活動に大いに関与して居るとの意識を持って戴くことです。退会の理由は人それぞれに依って異なると思いますが、私の感じる限りでは、前文で申し上げた通り、クラブ内に於いて自分の居場所がなくなる事、要するにクラブ運営にあまり必要とされていないと感じた時、あと1件はメンバー同志間に強い不協和音を生じた時、以上が退会の大きな%を示していると思います。昨今、メンバーの増強に新クラブの結成、家族会員等の勧誘等、施策を致して居りますがさらに加えて、退会防止にこそ最善の努力を致すべきと思います。

そして、最近感ずる事はクラブ活動の多様化にも依ると思いますが何につけ会合が多過ぎると思います。もう少し簡素化し重点的な運用が望ましいと思います。

そして、例会、委員会に於いても事務的で堅さを感じて居ります。

「人生何事に於いても楽しく過ごせれば最高です。」

これは、自画自賛に成るかも知れませんが…。1999～2000年、岡野ガバナ一年度に私は全く予想だにしていなかったリジョン・チェアマン（ＲＣ）に任命されました。突然の拝命で大いに迷いましたが、ガバナースローガンに「楽しい例会を」の一条が有りましたので、私は毎度の例会が和気あいの内に楽しく開催出来れば出席率の向上、かつクラブの活性化につながると考え、3名のゾーン・チェアマン（ＺＣ）と相談の上、積極的に楽しい例会の開催を各クラブにお願い致しました。そしてさらに、「その例会をコンテストの対象と致します。」と。ルールは次の通りです。

- ①競技はＺ単位で
- ②部外者参加はＮＯ
- ③最小の経費で最大の効果を
- ④審査員は各ＺＣ、ＲＣ
- ⑤表彰は年度末の打ち上げ会で

以上のルールでお願い致しました処、大変な反響で早速「〇〇月〇〇日 私共クラブで楽しい例会を行いますのでご招待致します。」と次々と招待状が届きました。お伺いしますと、いずれの会場も明るいムード一杯です。そしてメンバーに依って色々と趣向が凝らされ、大爆笑の内に2時間が終り、

何か逆に私たちが楽しませて戴いたのです。3名のZCには大変忙しい思いを掛けてしまいましたが、多くのメンバーの協力で5Rクラブの活性化に多少は役立てたと思い、自負し今でも感謝致して居ります。又その様な催しご縁で現在も交流を重ねて居るメンバーが多数居ります。

そしてさらに、もう1件お願い致しました。

それは「名刺をお作り下さい」と。と、申しますのは、私共のクラブは台南の中山獅子会と姉妹提携を結んで以来30数年の交流を重ね、5年周期の記念事業に表敬訪問を交換致して居ります。私も何度となく訪問致して居りますが、其の都度、日本語の出来る古参メンバーが若手メンバーと入れ替って居るのです。不信に思い尋ねました処、私共クラブでは定年制が有りますと。一定の年齢に達すると、自動的に退会し、若手メンバーと入れ替わるのです。……まあこれは、私共のクラブに取りましては誠に羨ましき限りです。そしてメンバーが入れ替わる理由を伺いました処、LCに入会が出来て、LCマーク入りの名刺を作成し多様する事に依って、自己の事業（営業）の取引が円滑に動くのです。「要するにLCが身元保証人ですね」

その一例を紹介させて戴きますと

私共は一時、台湾から建材の輸入を致して居りました。或る時、花蓮の石屋さんに大理石の見積をお願い致しました処、なかなか単価が折合わず商談が進展しませんので、やむを得ず相手方に「あなたは失礼ですが社長さんですか？」と尋ねました処「支配人です。」……「今日は社長さんご不在ですか？」伺いました処、「居ります。」……「よろしかったらお会いできませんか？」支配人は不機嫌な面持ちで社長を呼んでくれました。

社長は40歳前後の正に仕事盛りの若者でした。そしてLCマーク入りの名刺を私に提示して初対面の挨拶を致しましたのです。私はすかさず「申し遅れましたが、私も日本国のLCメンバーの一員です。先程から貴社の支配人と単価の交渉中ですが、なかなか折合いません。LCのメンバーのよしみで、私共の希望単価でOK出来ませんか？」と尋ねました。社長は暫く見積書に目を通し乍ら、「貴社の希望価格でOKです。」と、即答を戴き、更に「LCメンバーとは気が付かず大変失礼を致しました。こちらこそよろしくお願い致します。」と。

その時思いました。この国ではLCメンバーである証しが商談に間接的な大きな力であると痛感致したのです。そして更に丁重な昼食の招待やら、社長秘蔵の珍石のコレクション室に案内されるなど、初対面にもかかわらず10年来の親交を感じる接待を受けたのです。

以上を見習った訳でも御座いませんが、その名刺には、クラブ名、役職名の明記は勿論の事乍ら更に自己の職業、或いは社会的地位等、大いにアピール出来る優れたデザインの名刺です。LCに於いては、政治、宗教を論じてもよいが、その政党、宗派を論ずる事はできないと有りますが、この国に於いてはなぜか、自己のピーアールには遠慮勝ちの様な気がしてなりません。私達メンバー1人1人は自己の事業、或いは社会的な地位の健全な基礎の上に立ってこそLC活動が出来ると思います。勿論公式の場でのピーアールは差し控えるのがルールですが、私は間接的に大いに名刺を活用して健全なる取引や社交に役立たせてほしいと思います。その名刺のデザインもコンテストの対象と致しました。

そして約束の年度末に5R全役員のご苦勞申しの懇親会を開かせて戴きました。

私は冒頭に、「あと数日をもってLCルールにより私達はそれぞれお役御免となりますが、本年1年、皆様方の心からの御支援、御協力により、大渦なく大役を然も楽しく務める事が出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。幸にして、本席にガバナーも多額の御祝い金を持参の上御出席戴いて居ります。本日は最後の機会です。1年を振り返り、楽しかった事、又、苦しかった事、申し上げたき事等々、たくさんあるかと思ひます。私も年度半ばに、岡野ガバナーを評して「人使いの荒いガバナー」と、悪評に取れるような発言を申しましたが、これは言い換えれば、ガバナーがいかに333-C地区の発展、改革に全力投球されたかという証しです。それこそ私達や、ガバナーへの悪評でも結構です。本席は特別に無礼講と致しましょう。」

以上申し上げ、会食後、地区の生みの親とも申すべき千葉LCより1Z、2Z、3Zの順でスピーチが始まったのです。アルコールの力もあるのでしょうか、スピーチの内容は全く自由で、多岐多様に渡り、会場は正に異様な盛り上がりの雰囲気となり、2時間の予定が3時間をオーバーし、そして大爆笑の内に3名のZCに依り、例の2件のコンテストの結果発表が行われ、それぞれの入賞クラブに賞品の授与を致しました。

そして、最後にガバナーより挨拶を戴き、閉会させて戴きましたが、大半のメンバーがなかなか席を立たないので、不信に思い伺いました処、或るメンバー曰く、「久々にこんなに盛り上がり楽しい会合を味合わせて戴き、何故かその余韻が醒めやらず立てないのです。」

人それぞれにより考え方は異なると思いますが…。

以上、私の長年のLC在籍で多くのブラザー諸兄に交友を戴き、私なりに感じたままを、高鍋青少年健全育成委員長の要請により書かせて戴きました。



ライオンズクラブの明日を考える

上総一宮ライオンズクラブ

Ｌ中川 都弘



333-C地区スタートの年度（1981～82）私はクラブ幹事として大変忙しい年度でありました。

初代のガバナーＬ式場倭文夫、C A B 幹事Ｌ吉原稔人より次期ガバナー候補者に我クラブのＬ秋場寛に要請があり我クラブにその様な立派なライオンがおられる事大変誇りに思いました。しかしＬ式場ガバナー就任直後の10月逝去され驚きと同時に残念でなりません。その直後緊急会議でＬ吉原稔人がガバナーに就任いたしました。又、その年度は日本から初めてＬ村上薫が国際会長に就任致しました。品川パシフィックホテルで行われた国際会長公式訪問での演説は見事でありました。1984～85いよいよ秋場キャビネットのスタート。私は副幹事として内局に登用されY E 及びアワードを担当アイバンク設立メイソン国際会長歓迎会など大変忙しい一年でした。国際会長歓迎会では成田ＬCの皆様大変お世話になりこの書面にて御礼申し上げます。さて私は15年位前より地区の運営には大きな疑問を持っております。E X T や会員増強による生や増やせがはたして良いのだろうか。当時はクラブ数77、会員数3,579名（期首）現在はクラブ数135、会員数3,511名（期首）でした。会員数はほぼ同じクラブ数は約2倍これではクラブ運営は大変です。

平成2年バブル崩壊以後会員の減少がクラブ運営に大きな影響を与えている事は重々分かっております。しかし無理な会員増強が質の低下を招く恐れがあると噂が出ております。問題を解決するには、クラブや会員が地域社会や地域住民の皆様より信頼と尊敬を受けられる様な行動と活動を行えば全ての課題が達成出来ます。

皆様から信頼と尊敬されているクラブを退会する事は、一体何があったのかと疑問を持たれます。それによって退会しにくくなる、又招請を受けた方はその様な立派なクラブに私の様なものがと謙虚に受け止めて頂けます。再度招請されればよほどの事がない限り入会して頂けると思います。では如何したら信頼と尊敬を受けられるか。

それには社会奉仕は常にやらせていただいていると言う考え方が大切だと思います。又、その立場に居る自らが喜びを感じなければなりません。これが達成出来れば5年位で信頼と尊敬を受けられるクラブになると思います。方法としては年2回クラブ会報を発刊し、会員の顔写真と役員名及び委員会名を掲載し会長方針又委員会方針などを掲載すること、A C T は委員会報告として写真入りで報告する、掲載する全ての文書には奉仕はやらせて頂いている謙虚な心で作成する事が大切だと思います。

社会奉仕に興味をお持ちの方は大勢居ります。個人でコツコツされておる方が大勢居ります。私達は組織で社会奉仕をやらせて頂いている事に幸せを感じましょう。

1R1Z

市川LC 会長 L溝口 昭義

「第9回10人11脚大会」開催

3月5日(土)爽快な青空の下、市川市立八幡小学校で10人11脚大会を開催。この大会は、青少年健全育成事業の一つとして、市内各小学校を順次会場と定め、第9回目となりました。学校関係者、コミュニティークラブの皆様、PTAの皆様の協力の下、総勢約200名の参加で盛大に開催できました。



全体朝礼



素晴らしいチームワークで優勝

この競技は、横一列に並んだ10人の仲間たちが、隣同士の足を、医療用の「ゴム」で縛り、規定のコースを走り、タイムを競います。速さよりも、「隣の仲間と肩を組んで、足並みそろえて、声を合わせて、イチニイチニ、進もうよ」をモットーにした競技です。

低学年から大人まで12チームが参加、途中で息が合わず列が乱れたり、ゴール前で転んで悔し涙を流したりと、いつもながらの素晴らしい大会でした。優勝・準優勝・3位・あったかはあと賞(校長賞)・チームワークチーム賞(LC賞)には、金・銀・銅・特別メダルを贈呈。そして小学校にはスポーツタイマー贈呈。また見学の方はじめ全員にストップウォッチ、ボールペンをプレゼント。当日は、ケーブルテレビ、新聞社の取材が有り、PRもしっかり出来ました。



スポーツタイマー贈呈



表彰式「喜びのライオンズローア」

1 R 2 Z

行徳LC 会長 L井上 克廣

東北関東大震災 義捐金活動

2011年3月20日(日)、市川ボーイスカウト第5団・6団の協力で、東西線行徳駅前広場において募金活動を行いました。

私たちは、被災地により多くの義捐金をお届けしたいとの強い気持ちから、街頭に立ち、道行く人たちに呼びかけました。ボーイスカウトの子供たちの熱心さ、優しさも伝わり、本当に多くの方々の善意の義捐金が集まりました。

その結果、午前10時より午後3時までの6時間で、1,019,038円をお預かりすることが出来ました。また、メンバーによる553,000円の義捐金を加え、合計1,572,038円を、地元市川市役所内の日本赤十字社へお届けしてまいりました。

未曾有の大震災に人々の心の温かさ、助け合う優しい気持ちを強く感じ、われわれも奉仕の精神を持ち続けて活動していきたいとあらためて思いました。

皆々様のご協力に心から感謝いたします。



1 R 2 Z

浦安シーサイドLC 幹事 L齋藤 新一

眼前の惨状に「できること」を継続的に

テレビで放映される痛ましい東北の光景と、眼前に映る浦安市の液状化の惨状。

私たち浦安シーサイドライオンズクラブ（三浦恒会長／32名）は、クラブ活動の基盤となる地域の大半が液状化の被害となった。また、会員に地方出身者も多く、東北出身でご友人が多数犠牲となられた会員もおられ、未曾有の大災害にライオンズとしてどのように活動すべきか真剣に考える機会ともなった。

小さいクラブ故、できることに限界はあるが、浦安市を中心に東北の方々にも支援活動を行うことを決定し、浦安市では、義援金とともに、市の防災本部や地域ボランティアの方々で連携し、土砂の撤去作業、募金活動などに奔走している。



支援物資（灯油、生活用品など）

また東北地域には、犠牲となられた会員の出身地である岩手県の陸中山田ライオンズクラブに義援金を贈るとともに、福島県や宮城県にも灯油や生活用品などの支援物資を運んでいる。

今後も浦安市並びに被災地のライオンズクラブの方々のご指導の下、復旧・復興支援に少しでも協力できるように精力的に活動をおこないたいと考えている。



陸中山田ライオンズクラブと共に

1R2Z

行徳ベイLC イベント実行委員 L水野 実

「楽木（ラッキー）エイトボール」初開催

2月27日(日)市川市福栄スポーツ広場・ゲートボール場にて、“老若男女みんなで楽しめるスポーツ”をという命題のもと(財)日本イベント協会会員でもあるL 敦花が企画した新しい遊び「楽木（ラッキー）エイトボール」を開催致しました。

当日は、好天に恵まれ、(財)日本イベントプロデュース協会から、金子参事他9名の参加。NPO福祉法人キルト・ビーから、高水理事長、施設利用者計5名。クラブからは、L 田中甲会長、他3家族計10名。合計24名の参加がありました。各チームに分かれて競技を楽しみました。知的障害のある参加者も明快なルールの為、得点の度にガッツポーズで喜びを表現される等、終始和やかな雰囲気イベントを終えることが出来ました。

今後はWe Serve!の精神で、福祉施設を中心にゲーム普及を図り、多様な地域交流に繋がられる様活動していく予定です。

◎ゲーム内容

ゲートボールとビリヤードのゲーム要素を取り入れた新タイプの競技。

◎必要機材

サイドフェンス（木柵）

3800mm×2700mm（分割式）。

ラッキーゲート（4個）

高さ／幅いずれも200mm。

ウォンド（スティック）

* いずれも間伐材を利用して生産された物。



こどもたちも、ゲームに集中！

◎遊び方

1から6の番号が刻印された赤球6個と、白球、黄球の計8個の球を使用。順次赤球を各辺のゲートからゲートアウトし、最後に相手球をゲートアウトさせ得点を競う。基本的にリーグ戦、対抗戦でゲーム進行する。年齢・性別・障害の有無を問わず「みんなで一緒」に楽しむ為のゲームである事から、身体的な障害や車椅子の方でも介添え者とともにゲーム参加することが出来る。



楽しく遊びながらWe Serve！

2R1Z

松戸南LC 会長 L佐藤 肇

第七回青少年健全育成新春たこあげ大会

私ども松戸南ライオンズクラブの柱の一つでもある新春たこあげ大会を、今回は松戸ライオンズクラブとの合同アクティビティとして1月8日(土)に江戸川の河川敷において開催致しました。

昨年はインフルエンザの大流行ということがあり、やむなく中止としましたが、今年は天候にも恵まれ、市内の小学生を中心に300名を越す参加をいただきました。

クラブで提供した風に、子供たちは自由に絵を描き一斉に上がる様はまさに圧巻といえました。

会場では温かいお汁粉や飲物を提供し、またメンバー全員で作った大凧も、見事大空に夢を乗せて舞い上がりました。

そして表彰式では、子供たちに、市長賞、大会会長賞、よく上がったで賞などの表彰状を提供し、子供も大人も笑顔いっぱいの楽しい一日になりました。

また、当日はお忙しい中、来賓として本郷谷松戸市長をはじめキャビネット役員、市内ライオンズクラブの方々にご出席いただき、誠にありがとうございました。皆様のご協力のもと、無事盛大裡に終了することができました。



2R2Z

野田LC 会長 L浦邊 静志

2010年9月5日(日)

野田ライオンズクラブ地曳網大会

野田ライオンズクラブでは、2010年9月5日(日)蓮沼海岸(千葉県山武市)で、総武中央ライオンズクラブのL浪川朝博のご協力により「野田ライオンズクラブ地曳網大会」を行いました。

地曳き網大会には、野田市内の社会福祉法人「は一とふる」および「野田芽吹学園」から41名の皆さんが参加。野田市のバスを利用し期待に胸を膨らませて移動しました。

天候にも恵まれ、カー杯網を曳き、汗をかけた後は、海岸近くのバーベキュー会場でバーベキューを堪能。参加した皆さんも、大自然に直接触れ、格別な感動をしたことと思います。

この地曳き網大会が無事感動のうちに終了したこと、ご協力頂いた関係者に御礼申し上げます。



2010年9月29日(水)野田ライオンズクラブチャリティーゴルフ大会

野田ライオンズクラブは、2010年9月29日(水)秋晴れの好天に恵まれ、野田市内のクリアビューゴルフクラブ&ホテルでチャリティーゴルフを開催しました。2リジョン内外の各クラブの皆様、また市内のチャリティー趣旨に賛同下さった皆様を含め、208名と多数のご参加を頂き、親睦を図るとともに交流を深めプレーをしました。

パーティーには、野田市長根本崇氏を迎え、青少年の健全育成資金目録を根本市長に贈呈しました。根本市長からは「青少年の健全育

成そして野田市のためにこれからも頑張っていきましょう」というご挨拶を賜りました。



2011年2月16日(水)新入会員入会式

野田ライオンズクラブでは2011年2月16日(水)第二例会において4名の新入会員の入会式を開催しました。(クラブ会員-男性3名: L 斉藤幸男 L 染谷光男 L 伊藤誠、たんぽぽ支部会員-女性1名: L 岡田和子)

入会式では、会長としてライオンズクラブ国際協会の歴史と義務についてのメッセージを贈り、4名の方に宣誓をして頂き、拍手で入会式を完了しました。

改めて会員増強の難しさを感じました。これからは1年1年の会員増強ではなく、野田ライオンズクラブとして5年~10年先を見て委員会、理事会にてしっかりと検討を重ね、ライオンズ人としての人材を探索し、毎年会員増強委員会で招請をしていく努力をしていきたいと思います。



2022

流山シニアLC PR情報委員 L 福島 啓介

〜とびかう笑顔、いきかう真心〜

11年目の活動はもう一度自分たちの活動を見直すところから始めました。地域に密着した奉仕活動は社会への恩返し、次世代への架け橋となるのを目的としています

- 1、年三回の献血活動。内1回は少年サッカー連盟の協力を得て父兄、コーチの組織的献血が行なわれ、その実績が評価されている。
- 2、献眼推進活動。全員登録を目指し、更に実質献眼者の実績をあげるシステムを構築している。
- 3、環境保全活動。除草清掃、みどりを増やす運動を市と協力して行っている。
- 4、青少年健全育成活動。薬害防止キャンペーン、スポーツ活動への支援など行っている。
- 5、社会福祉支援。チャリティーダンスパーティを開催し浄財の寄贈を行う。
- 6、地域活動への積極的参加。市民祭りへの参加。ロードレースに協力。

その他、シニアらしさを活動の目線に置き日常の活動をしています。



第6回チャリティーダンスパーティ開催
(H23. 2. 19日)

ダンス愛好家に楽しく踊って、歓談できる場を提供します。貴重な浄財は流山社会福祉協議会へ寄贈し、広く社会福祉に役立てていただいています。

3R1Z

柏LC L山田 敬助

未来への“絆”

このたびの東日本大震災で被災されました皆様、福島原発にて被害を受けられました皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げます。

当クラブでは、台湾台北市大同LCと姉妹クラブ締結いたしておりますが、本年1月に締結35周年を記念し例会訪問いたしましたところ、熱烈な歓迎を受け、より親密な関係を継続して構築しています。台湾においても1991年には大地震で甚大な被害を受けましたが、この度の東日本大震災発生後、すぐに安否確認の連絡が入り、またお見舞いのご支援をも賜りました。まさしくライオンズらしく国際的な支援の輪が広がっていると感じており、また同じ被災国としての気持ちに感謝をいたします。先般も1Z合同の義援金募金活動を柏駅にて実施し、一般の皆様より多くの支援を賜りましたことを御礼申し上げます。日本は今大変な危機に直面しておりますが、一日も早い復旧と復興を会員一同、心よりお祈り申し上げます。



3R1Z

印西LC 会長 L杉田 祐司

子供達と一緒に 盲導犬育成支援募金活動

ライオンズクラブをもっと知っていただくためにも、ただ与えるだけの奉仕だけではなく、一緒になって活動することが必要だと考えます。

そこで当クラブで支援している少年野球から印旛ブラザーズ、内野シャークスの2チームをお招きして、盲導犬育成支援募金活動を子供達と一緒に行いました。募金だけではなく、昼食時には盲導犬協会の方にデモンストレーションしていただいたり、盲導犬ユーザーの方から街で盲導犬に出会った時に誰にでもできるお手伝いの仕方などを学びました。2月初旬のイオンモールで室内とエントランスに分かれて募金を開始しました。小雨降る肌寒い中でも元気な声を上げて頂いたおかげで129,772円もの浄財が集まりました。子供達にお礼を述べると満面の笑顔を返してくれました。クラブメンバーだけではなく地域と共に同じ目線で活動する重要性を再確認した一日でした。盲導犬のキキちゃん、ヴィオちゃんもありがとね。



3R1Z

柏さくらLC 会計 L木村 英俊

大震災から学んだこと

東日本大震災の2日後、3月13日には、私が責任者であり、柏市内23の諸団体（ライオンズクラブ関係が約半分）から構成される“愛の献血かしわ推進協議会”の合同献血キャンペーンが予定されていました。

被災地の状況が刻々とテレビに映し出され、決行か中止かとの問い合わせのある中、この様な時だからこそ私達が出来最も身近なボランティアのひとつが「献血」と思い、日本赤十字社、柏市役所と相談しながら、予定通り実施させて戴きました。

いつもより多くのメンバーが集まり、終日、柏駅前で市民の皆様にお声をかけたところ、献血ルーム、献血バス共に入りきれない程の申し込みを頂きました。今回は献血が初めての方が多く、「私達にも何か協力できますか?」「何とか人の為になりたいです。」といった声も多く聞かれました。

余震が続く中、実施してよかったと思っています。

その日から、柏駅前は義援金募金のメッカとなり、諸団体、学校、政党の募金箱が並びました。

3R1Z・2Z合同の募金活動は、3月27日(日)でした。私たちの柏さくらライオンズクラブも参加し、「千葉県も被災県です。旭市、香取市にお届けします。」と終日声をかけていますと、小、中、高校生達が、自分のお小遣いから4つ折にした千円札を募金してくれました。又、「ご苦労様」と一言、1万円札を募金箱に入れてくださった方々もたくさんいました。

そして、計画停電中の柏駅。朝の通勤時間帯でも柵もロープもないのに、整然と並ぶ私たち日本人。どれも感動の日々でした。

被災地だけでなく、首都圏も含めた広範囲な地域で経済への影響が懸念されています。

自粛ムードが市場を冷やし、放射能とは無関係の地域にも風評被害が広がっています。極端な事は別として、そろそろ“自粛しないことも復興の一助”と思うのは私だけではないと確信しています。



3R1Z

柏みどりLC 会長 L永岡 紀子

クラブ活動報告

今年は結成10周年記念という節目に当たり、チャレンジの年になりました。

2月7日はクラブ初めての「チャリティコンサート」では、地元出身の若い演奏家3人を迎え、インフルエンザの猛威を吹き飛ばすホットな一夜になりました。ご参加頂いた方々が、晴れ晴れとしたお顔をして帰路につかれたのが何よりも嬉しかったです。



クラブ主催の初めての、「薬物乱用教室」は、柏沼南LCさんのご指導ご協力の下、柏市立中原小学校5・6年生310名の児童を前に「ダメ！ゼッタイ！」とクラス対抗で大声を出す、参加型で行いました。

後日、授業を受けた児童の感想文を読ませていただいたところ、「ダメ！ゼッタイ！」を忘れないようにしたい、友人にも教えたい」との内容で、継続して行う事業だと実感しました。

10周年として、記念に残るものをと、柏ふるさと公園内にベンチ2基を寄贈しました。

先日桜吹雪の中、ベンチに座りメンバー持ち寄りでお昼の美味しかったこと…ゴミ拾いもしました。

東日本大震災の被災地支援では、メンバー縁の相馬市に直接の支援をしています。少人数ながら、出来る事を確実に日々活動していると思います。



3R2Z

柏創生LC L徳永 幸一郎

一人ひとりが出来ることを

3月11日に東日本・関東を襲う大地震があり、震災にあわれた方々には心よりお見舞いを申し上げます。震災と余震もまだ現在進行形です、不安と風評に負けず、力強く今後も進んでゆきたいと思います。

さて、我々柏創生ライオンズクラブでは被災地の方たちに即座に対応すべく、柏市内で活動する各団体と協力し合い被災地へ救援物資の提供を行いました。急な呼びかけにもかかわらず多くの物資が集まり、3月19日には茨城県高萩市へ運び、同26日には石巻市へ、同28日にはつくば市へ衣類・布団等を、4月4日には使用済みのランドセル500個を提供しました。今後はいわき市への物資支援、それと柏にきた避難者の住宅施設の清掃支援等も計画しています。被災地の復興にはまだまだ時間がかかります。我々、柏創生ライオンズクラブは今後も行政や他団体とも協力しあい、息の長い活動を続けて行きます。一日も早い復興と、日本の元気を行動と共に祈るばかりです。



4-ARIZ

船橋LC 幹事 L内山 敦子

船橋ライオンズクラブ
CN50周年 記念植樹

私達のクラブは本年4月29日CN50周年を迎えることになりました。

振り返りますと長い長い50年間を感じます。記念事業を街で見つけて見ますと5周年ヒマラヤ杉、つつじの造園、15周年10本の楠を植樹、20周年船橋警察所前に「転生」のモニュメント、25周年運動公園内に石畳の水の道と菖蒲苑造営等々、特に木々は天を突くほどに大きく成長し、石畳の間を縫って小川がやさしく音をたてています。先輩方の努力を形として見せて頂けるのは正しく私達の励みの極みです。どうしても記念として植樹をし、その繁り行く恵みを受けたいと考えました。

3年くらい前から候補地を船橋市と少しずつ接点を見つけJR船橋駅南口正面にその場所を得ることが出来ました。植物にとっては立地条件の難しいところではありますが、会員が日常的に通る場所であり、その都度様子を見て水を与え大切に育む覚悟をしています。

高野槇は神木としても崇められる強く美しい樹です。どうぞ駅前を通られます時はご覧ください。

槇の繁るが如く私達のクラブが力強く次の100周年に向かって歩みを続けます様祈るところです。

平成23年4月3日記念植樹の日に



4-ARIZ

船橋グリーンLC 会長 L吉岡 光信

献血活動

このたびの東北関東大震災にて被害を受けた皆様に謹んでお見舞申し上げます。

一日も早く、安心・安全な被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

そして「やさしい街 船橋に…車椅子を」テーマにチャリティー歌謡ショーを予定しておりましたが、この度の東北関東大震災の為、自粛する事になり、我がクラブ員全員が協力し、今まで通り、車椅子を贈る事になりました。又、偶数月の第一日曜日、JR船橋駅において献血呼び掛け運動を行っており、献血協力者にはボールペンを差し上げており、大きな成果を上げております。

これからもクラブ員一同、地域に貢献していきたいと思ひます。



4-AR2Z

船橋シニアLC 会長 L阿部 文男

第13回船橋市内小学生作文コンクール
「私のゆめ」をテーマとして

本年度のテーマは「私のゆめ」。

市立小学校54校中31校から374編の応募がありました。この出品数は過去最多で、この作文コンクールがいよいよ定着した感があります。

小学生たちのゆめはサッカーや野球の選手、幼稚園や小学校の先生、医師や看護師、薬剤師、介護師、歌手や作曲家、プロ棋士、漫画家、大工、アナウンサー、旅行家などなど。

船橋市長賞を受賞した八栄小学校5年の三辺楓さんは「お母さんみたいな大人になりたい」と題するものでした。いつも仕事や家事で忙しいなか、家族のことを一番に思い愛情をもって接している母の強さを感じて自分も母のような大人になりたいという気持ちが素直に表現されていました。

当クラブはこれからも市の教育委員会の後援を受け、市内小学校の協力のもとに作文コンクールを続け、作文をとおして青少年育成をすすめてまいります。



市長賞の受賞を喜ぶ三辺楓さん

4-BR1Z

鎌ヶ谷飛翔LC 会長 L石原 孝志

東日本大震災の義援金募金活動

3月21日より8日間、新鎌ヶ谷駅自由通路にて、東日本大震災の義援金募金活動を行い、合計97万7866円の義援金をお預かりいたしました。

知恵や備品の無い若いクラブには「何かをしなければ」との、当てのない焦る気持ちに突き動かされての活動でした。

それでも街を行き交う方々は、年配の方、学生、女性、小さな子どもも、「東日本大震災義援金よろしくお願いします」との呼びかけに、等しく応じていただき、優しい手で募金をいただきました。

最終日に行いました募金のお礼と、合計金額の報告の声に、高校生の女の子が、「すっげー、97万だってよ！この中の5円、あたしんだよ。集まるとすげーな！」との言葉が、言葉遣いはどうであれ、素直な感想であろうと印象に残っています。

チャーターナイトから1年の若造のクラブの会長としても、この金額に達した事、正直すごいと思います。

被災地への支援は、これより継続的に行っていくことが必要と、クラブ内で話し合っております。活動の内容も募金のみではなく、多様な奉仕の形があるとの認識はしております。その多様な奉仕の形を実現すべく、これからも多くのクラブに学び、成長していくクラブでありたいと考えています。



4-BR12 白井あすなるLC 会長 L深澤 泉

「街頭募金」

皆さま方に支えられ、結成10ヶ月を迎えます。例会もなんとか形が整い始めて参りました。初めての「労力ACT」、白井地区の清掃活動目前に起こった「東日本大震災」。

誰ともなく「募金活動に変更できない？」と、メンバーから意見が出ました。どうやったらいいのか？考えていても前へ進めない。とにかく実行しようという事になった。3月24日「白井駅」曇り空の中、沢山の高校生がお小遣いを募金箱へ入れて下さった時は、この子供たちの未来を守らなければと感慨深いものがありました。3月29日「西白井駅」帰宅途中の皆さんが足を止めて募金して下さいました。両日ともにメンバーは大きな声で元氣よく活動することができました。



メンバーの浄財とあわせ、地元千葉県旭市へ女性メンバー有志の千羽鶴と共にお贈りさせていただきました。

後日の反省会では、ライオンズクラブに入っ
て皆と思いや時間を共有し達成感を味わう事
がなかったかもしれない。そう語ったメンバー
の言葉が印象的でした。まだまだ、先輩ライ
オンには追いつきませんが、メンバーが一緒

に成長し、地域の皆様のお役に立てるようこれからがんばっていきたいと思います。先日
の例会では、新しい仲間を募集しよう！とい
う方針も出され、早く35名体制にもってい
きたいと思います。（現在28名）

また、この場を借りて、ガイディングライ
オンL山崎明（白井LC）そして、L宮澤正
則（船橋北）お二人にはいつもお世話になり、
暖かくご指導して下さいることに心より感謝申
し上げます。私達も、そういうライオンになっ
ていきます。



4-BR2Z

八千代LC 会長 L渡邊 敏弘

8月納涼家族例会

8月7日(土)に児童ミュージカル「カミカの風」を観賞しました。出演は幼稚園児から大学生までの子ども劇団プティ・ソレイユ、場所は八千代アートスクール4Fホールでした。

演目の「カミカの風」は東京大空襲をテーマにしていますが、自然環境、平和、友情の大切さも訴えます。

内容は、学童疎開していた子ども達が東京大空襲の直前に帰京し、焼死してしまう事を森の精霊たちが哀れみ、時間を止める。現代の子ども達はその森に迷い込み、時空を越えて戦時中の子ども達に出会う。考え方や服装がまったく違う子ども達の間に友情が芽生えていく…というものです。

当日の参加者の感想を紹介します。

主人公の子ども達が昭和8年生まれで私と同じ年、当時を思い出して涙が止まりませんでした。

自然保護や平和と愛。人間として一番大切に当たり前の事が今も守られてない世の中はとても悲しくて残念です。

今のお子さん達がこんな素晴らしいメッセージを私たちに伝えてくれて、「すごいなあ!」と思いました。もっと多くの人たちに是非伝えてほしいです。

メンバーの中には下町出身者や同世代の方が多く、感慨深い例会となりました。



5R1Z

千葉グリーンLC 会長 L行木 道嗣

がんばろう ニッポン

3月11日に発生した大震災において、被災された皆様に心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

また、333-C地区のブラザークラブをはじめとする関係団体の皆様の被災地、被災者救援対応の並々な行動力、機動力、等々に衷心より敬意を表するものでございます。

今後も金銭支援、物資支援、労力支援、医療支援、精神的支援、等それぞれのクラブがそれぞれの得意なジャンルを行使しながら、ライオニズムの精神の元、復興に向けてがんばろうではありませんか。



3/20~27 駅頭募金風景

5R2Z

千葉京葉LC 幹事 L橋 孝夫

若さで寒さを吹き飛ばせ！
高校親睦柔道大会

千葉京葉LC（会長L山村政男）は、青少年の健全育成事業の一つとして毎年、千葉ゆうきのLC（会長L橋爪雅子）と合同で千葉地区高等学校親睦柔道大会に参加している。

2011年2月11日、今年で31回目を迎える継続アクティビティとなる本大会が千葉県総合スポーツセンター武道館で行われた。

大会当日は、雪混じりの冷たい雨模様で、手もかじかむコンディションだったが若さあふれる面々が会場内を熱気につつんだ。

ファイトあふれる選手宣誓のあと大会はスタート。若さと柔道にかける闘志が、さらに会場を活気づけ、見ているものをも熱くひきつけた。

結果は毎年優勝しているチームが圧倒的な強さで連覇した。

なお参加の趣旨は武道をともし心技体を鍛え、同時に世界平和および自由と愛をはぐくむを目的としていることから、高校親善柔道大会と目的が合致したため、アクティビティとして採用され今日に至っております。



5R2Z

千葉ポートLC 幹事 L安倍 正二

東日本大震災に寄せて

今回の未曾有の大震災による被害は東北地方だけにとどまらず千葉県においても多大なる被害を引き起こして現在も未だ復興のさなかにあります。

被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

千葉ポートLCとしても義援活動を行ってきておりますが、千葉ポートLCのメイン活動としてCLCP（千葉県ライオンズクラブカンボジア支援プロジェクト）共同活動で長年取り組んでいますカンボジア小学校建設において現地のプノンペンオーバイコーンLCよりもいち早くお見舞いのメール、レターを頂きました。

又、オーバイコーンクラブメンバーと今まで建設をしてきた小学校の生徒さん達からも、オーバイコーンLCを通じて被災地の皆様へと、多額の義援金を頂きました。

今まで、クラブとして諸先輩方が継続的に小学校建設を通してカンボジアとの絆が築かれた結果であり今後もカンボジアのこども達の為活動を継続して行きたいと考えております。

カンボジアオーバイコーンLC会長よりの
レター及び日本語訳

私達は、オーバイコーン会長、会員、そして先生、学生と親、3月11日2011年に起きた東北関東大震災のニュースを知って大変悲しく心を痛めています。

たくさんの死者不明者が出ており、たくさんの家、建物やインフラが破壊されることにに関して、私達は日本政府と日本の皆様とともに大変残念な思いがいっぱいです。

私達は日本政府と勇気強い日本国民そして友好国の力を合わせて日本が早く復興できると期待しています。

どうぞご敬意と感謝の気持ちを申し上げてこれからもご指導のほどよろしくお願い致します。

プノンペン 3月25日2011年
会長 ベン・キムサン

5R2Z

千葉ゆうきのLC 会長 し橋爪 雅子

第15回千葉ゆうきのライオンズクラブ
チャリティーディナーショー

2月20日(日)5時よりホテルニューオータニ幕張にて『第15回千葉ゆうきのライオンズクラブチャリティーディナーショー永山こうじとロス・プリモスオンステージ』を開催いたしました。私たちの趣旨に賛同いただいた約600名の方たちのお心のこもったチャリティー資金は・千葉市社会福祉基金・千葉市手をつなぐ育成会・千葉県アイバンク協会・日本赤十字社千葉県支部・社会福祉法人清輝会・千葉市中途失聴・難聴者協会・千葉県ライオンズクラブカンボジア支援プロジェクトの7団体に贈呈させていただきました。



お食事は、毎回、私たちメンバーが必ず試食をし、生意気にも料理長に注文をつけながら納得のいった物を皆様に召し上がっていただいております。今回も満足していただけたようです。「野菜と鱈をゼラチンで固めたビラミッド型のオードブル」に始まって、「パイ包み焼きのトマトスープ」、「牛フィレとイベルコ豚のホワイトアスパラ添え」、そして「マスカルポーネのムースと果物」。パンもオリーブを練り込んだものや山葡萄を練りこんだパンなどとても美味でした。出口で皆様にご挨拶をしていましたら大勢の方々からお褒めの言葉をいただきました。

続いてのショータイムでは、バックバンドを引き連れて、皆さんおなじみのロス・プリモスによるムード歌謡ショーでした。「ラヴ・ユー東京」、「たそがれの銀座」、「知りすぎたのね」などおなじみの曲のオンパレードで、会場の方々も口ずさんでいらっしゃいました。

生バンドの演奏も素晴らしく楽しんでいただけたようでした。

毎回の皆様のご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。



5R3Z

市原グリーンLC 幹事 L山口 正子

ライオンズマンとしての誇り

3月11日東関東大震災にあわれました被災者、又悲しい事に津波による犠牲者の皆様心よりお悔やみお見舞い申し上げます。

当クラブは11人の弱小クラブです。ライオンズクラブとしての活動範囲はおのずと狭まれますが、献血活動も三会場とクラブ主催の五井大市献血活動、又、更科川桜を観る会では豚汁販売により売上の中から市の福祉に寄付金を出せるようにもなりました。又、ビーズアクセサリー販売の売り上げを東関東大震災に義援しようと二年足らずの会員が半分をしめる中一歩ずつではありますがACTに対し会員の意識が高まってきております。

まず、最近では今回の東関東大震災による第2副地区ガバナーL長澤千鶴子の呼びかけ「女性クラブによる支援」です。声掛けに品物は即集まり、翌日には大網白里LCL角河による集配の際われわれの支援物資が地元のライオンズクラブを通し被災者の方々に渡る事を知りました。

我が市原市も各地域の事は会員が、誰が何を今必要としているかが把握できます。この組織のすばらしさを改めて理解することになったのです。

弱小クラブでも大震災の被災者の方々に何か出来ることはないか？現地では自転車を必要としている事を聞き、今関係者にあたっている所です。この震災に於いておそらく世界中の人々が、何か力になれる事はないかと思われた事でしょう。一人の力では小さくてもライオンズマンの結集により大きな力で世界中の人々を助ける事が出来る。

我がクラブも震災地区ボランティア活動、

義援金、支援物資、従来のACT、ブラザークラブへの参加、活動資金の確保等々、一歩ずつですがライオンズクラブ員としての意識の高まりが定着しつつあります。これこそが我がクラブとしての成長であり、今後も地域や社会、国際の為にライオンズマンとして誇りを持ち活動出来ることに感謝しながら行く所存です。



5R3Z

市原いちょうLC L宮城 尚美

クラブ活動報告

こんにちは。市原いちょうクラブです。私たちのクラブは現在10名で、現役仕事をしている人がほとんどで、活動は今の所献血しか出来ませんが、全員が献血活動に理解があり、力を注いでいます。

この写真は震災後の3月22日にベシア古市場店さんにご協力を頂き実施しましたが、雨の中気温も6℃と寒い中、震災で苦しめる人の力になりたいと自ら足を運んで下さる姿、言動にあらためて人の優しさを感じました。

また、ライオンズクラブに入会して奉仕活動やボランティアにたずさわる様になり、人の道と言うありがたい部分を教えられました。

これからたくさんの方に入会していただき心が一つになり世界が平和になれば嬉しく思います。



6R1Z

成田LC PR情報・IT委員長 L大野 卓正

6R1Z成田LC新入会員を迎えて

東日本大震災により被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を哀心よりお悔やみ申し上げます。

さて、我々成田LCでは、4月5日(火)の例会前に新入会員3名の入会式が行われました。3名の方は、いずれも50代でLC活動の趣旨に賛同いただき入会の運びとなりました。入会式後の例会「テーマの時間」では、L平山佐吉(現C地区献血・献眼・献腎推進委員長)により「ライオンズの歴史・機構等について」のお話をいただきました。

現会員は、いままで自己が参加し、行ってきた奉仕活動の再認識と現LC全体の活動状況を、新入会員は、今後の奉仕活動の参考になる貴重なお話ではなかったかと思います。

今後は、「Liberty、Intelligence、Our、Nations、Safety」というスローガンと「We Serve」のモットーのもと、さまざまな奉仕活動に、会員一同取り組んでいきたいと思っております。



6R1Z

富里LC L寺田 裕之

第10回リトルリーグ 富里ライオンズクラブ旗争奪戦開催！

平成22年10月31日(日)、11月3日(祝)及び13日(土)の3日間、富里ライオンズクラブの青少年健全育成事業のひとつであるクラブ主催の『リトルリーグ富里ライオンズクラブ旗争奪戦』を、富里市JGSNG(旧AGS)グラウンドで開催しました。

秋は天候が安定して晴れる日が多いのですが、昨秋は、野外イベントにとって、天候の定まらない気を揉む日々が続いていました。しかし、決勝戦の行われた3日はよく晴れて、青空に白球の映える素晴らしい野球日和となりました。



選手宣誓



硬式ボール

参加チームは、ナショナルの部が13チーム、マイナーの部が12チームの合計25チーム。今回は、当クラブ主催第10回の記念大会であり、参加各チームに硬式ボールをプレゼントしました。

少年時代、野球に熱中していた頃、私も真新しい白球の美しさに魅せられた一人でしたので、子供達の喜びようは、ノスタルジックな記憶と共に胸の熱くなる思いが致しました。

試合結果は、ナショナルの部が船橋チーム、マイナーの部が松戸チームの優勝となりました。

また、後日、多年に渡る富里クラブの青少年健全育成への貢献に対し、(財)日本リトル野球協会リトルリーグ東関東連盟、中野辰男理事長より感謝状が贈呈されました。



感謝状



6R1Z

成田エアポートL.C 会長 L鳩澤 敏

70、71回目の献血

成田エアポートライオンズクラブは、YCE国際交流と献血活動に積極的に取り組んでいます。献血活動においては、結成15年のクラブですが活動回数が70回を超えました。5年前より年2回だった活動が、8から9人の班を作り毎月実施するようになり活動回数が増えました。



毎回、成田のイオンショッピングセンターを借りて日赤の献血車3台で行っています。クラブ員は、のぼり旗の設置やポケットティッシュの配布などの呼び込み、受付問診票の書き方の説明など、採血の終わった方にゆでたまごやジュースを配り、最後にボックスティッシュとホテルのパンをプレゼントします。

70回目の2月23日は、クラブ全員の出席や事前の広報活動などで147名で52,800mlの結果でした。

71回目は4月16日で、震災の後でショッピングセンターにはいつものにぎわいはなく閑散とした様子でしたが、みなさんの献血、何か役に立ちたいという意識が高く、少人数での呼びかけにもかかわらず95名で31,000ml献血していただきました。

今期は、今までの献血活動に対し日本赤十

字社千葉県支部より感謝状をいただきました。これからも献血活動を通じ社会に貢献していきたいと思います。



6R2Z

佐倉L.C 会長 L菊池 寛

クラブ活動報告

私たち、佐倉ライオンズクラブの1年間の主な事業活動をお知らせします。

通年活動として献血推進（日赤・佐倉市共催）を7月、9月、10月、2月の合計4回で採血量合計：5万mlを目標に活動しています。

その他に、当クラブで以前、印旛沼湖畔に植樹した約200本の桜の木の除草と施肥（会員企業制作）を秋（10月）および春（5月）の合計2回実施。今年度よりこの事業活動は佐倉むらさきL.Cと共催で行い、2時間程度の作業の後近くのバーベキュー会場に場所を移し、それぞれ簡単に移動例会を行い、その後、持ち寄った材料で懇親、食事会のバーベキューをしています。

また、12月17日に恒例となっている佐倉市福祉施設さくらんぼ園クリスマス会を開催し、当日はクラブ員がサンタクロース及びライオンの着ぐるみを着用し園職員のプロデュースで園児達とダンスしたり歌ったりして楽しみました。

またプレゼントについては事前に、職員さんに現金を渡しておき、園児達の状況に合った物を買って頂き、当日ひとりひとりに手渡しました。

そして2月23日に、これも恒例となっているチャリティーボウリング大会を開催した。

午前には佐倉市心身障害者福祉作業所よもぎの園・南部よもぎの園、午後に印旛学童クラブあかとんぼの職員さんと園児合計117名を招待し佐倉市ユウカリが丘にあるユウカリボウルにて、千葉県会議員の伊藤昌弘ライオンによる挨拶及び始球式でスタートし午後5時過ぎに終了した。福祉施設の方々の熱心にプレイする姿、笑顔を見ると、我々に生きる力を与え貰い、ライオンズクラブ活動のあり方実感できます。

日頃、一般社会と接触できる機会の少ない方々を佐倉ライオンズクラブはこれからもサポートし続けたいと考え、次につながるクラブ活動を目指します。

6R2Z

八街LC 会長 L川井 進

八街ライオンズクラブ活動報告

去る2月22日(火)スカイウェイカントリー倶楽部にて、第14回チャリティゴルフ大会を無事に開催する事が出来ました。当日は115名ものご参加を頂き、天候にも恵まれ和やかな内に会を終える事が出来ました。



ブラザークラブの皆様にも、たくさんの御参加を賜り御協力頂きました事深く御礼申し

上げます。また当日は多大なるチャリティを頂戴し、八街市スポーツ少年団・社会福祉協議会等へACTさせて頂きました。

又、今後のクラブ活動としましては、5月13日・20日・27日・6月3日と4日間にわたり、八街市内8小学校全ての6年生を対象とした薬物乱用防止教育を実施致します。

キャラバンカーを巡回し、講師の資格を取得したクラブ員と、所轄警察官による講演を実施致します。また児童へは薬物乱用防止教育啓蒙品として『ダメ・絶対』ロゴ入りボールペンを贈呈致します。

八街ライオンズクラブは会員数16名と少数ではありますが、一人一人が高い志をもって、日々ライオンズ活動に励んでおります。

今後も地域と共に積極的に奉仕活動に取り組んで参ります。

6R2Z

八街グリーンLC 会長 L林 泰弘

今年度を振り返って

まず、3月11日の東日本大震災で被災された方々にお見舞い申し上げます。

当クラブは、その翌日に恒例のチャリティーボリング大会開催の予定でしたが、中止となりました。その後の計画停電の予定があり例会も中止しました。

そこで、活動報告というよりも本年度会長を勤めさせていただいた感想を簡単に述べさせていただきます。

いままで、何も考えずに行ってきた活動が大いに意義深いものと認識が少し変わって来ました。例えば、ある会員が自分の手術で輸血を受けたことをきっかけに献血のありがたみを強く感じてか、献血活動推進の重要性を述べていたり、また、ある会員は自分の子供の成長をきっかけにYCE活動の重要性を説き、また、別の方は薬物乱用防止活動の意義やその様子を話しているのを聞いていると、ライオンズクラブの活動の意義を再認識する

ようになりました。

当クラブも献血やYCEの受入れ等を行ってききましたが、今後も微力ですが、活動をして行きたいと考えております。

会長職の慣れてきたころ終わりです。皆さま、御世話になりましてありがとうございます。



6R3Z 四街道ユーアイLC 会長 L戸田 由紀子

四街道の魅力を再発見 ～ボランティアのつどいに参加して～

自然に恵まれたまち・四街道は、ボランティア活動の活発なまちでもあります。四街道市の人口は約8万7千人ですが、市ボランティアセンターには、現在、71団体と個人登録者合わせて約2,300名の方が登録しており、高齢者の介護から自然保護など幅広く、多様なボランティア活動を行っています。私たち四街道ユーアイライオンズクラブも団体登録を

して活動を続けています。

毎年1回、ボランティア同志の輪を広げ、つなげようとボランティアのつどいが開催され、14回目となる今年は2月5日に「もっと知って! もっと愛そう! 四街道!!」と題して、自然保護や観察会などを行っているボランティアさんの発表がありました。

旧石器時代からの遺跡が市内各地に豊富に残っており、縄文時代には極めて高い人口密度であったようです。昔から災害による被害が少なく、住みやすい地域であったようで、大きな川もなく、高台であるため洪水もなく、地盤が安定しているので関東大震災でも被害がほとんどなかったそうです。今回、東日本をおそった大震災でも幸いにして大きな被害はありませんでした。



四街道ユーアイライオンズクラブとしてつどいに参加し、豊かな自然が残り、美味しい地下水の飲めるまち四街道は、子どもを育てるには恵まれた環境であり、たくさんの方がボランティアをされていて市民の優しさを感じられるまちであることを再認識した1日でした。

献血活動、手繰り川の清掃活動など、これからも地域の中で、できることを無理なく、継続させていきたいと思ひます。

7R1Z

佐原LC 46期47代会長 L原田 隆司

野球場（両翼92M 中堅115M）を 造りました

メンバーL杉山禎胤は香取市大倉地区高台の山林を開墾して野球場の建設に着手したところ、クラブメンバーの中に建設土建・電気・電柱電話・自動車整備販売・運送・塗料関係の各業種のLが数多く在籍することから、青少年健全育成のためにもぜひ協力したいとの申し出があり、3か月以上の労力にて立派な球場が出来上がりました。



野球場

香取市長（L宇井成一メンバー）から少年野球大会とり切りカップも頂きクラブとしては第1回目の優勝、準優勝、3位のメダル40個を贈呈いたしました。



メダル授与

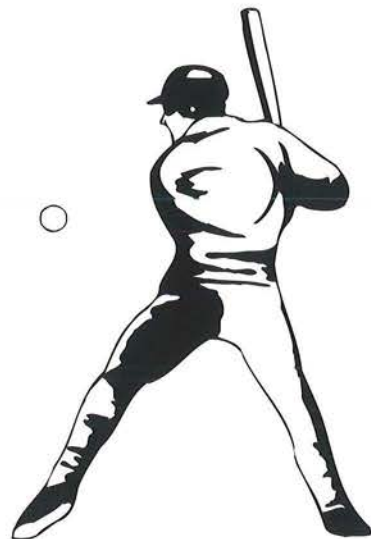
今までは、立地条件がよいところから利根川河川敷グラウンドは市内の各スポーツ（少年）団体が使用していますが、台風等の水害が何度もありすぐに利用できないことがありました。3月11日の大地震の影響は佐原近辺のスーパー堤防・河川敷や神崎橋（4月末まで不通）にも現れています。この点、高台、山林の中に新設グラウンドが出来たことは、災害を考慮したグラウンドであり、これからの青少年野球のみならず、様々なスポーツその他集会に利用できる可能性を占めております。

（香取市災害写真は香取市ホームページで）

<このACT内容 金銭306万円以上 労力2,160時間以上 マンスリー報告>



あやめ



7R1Z

神崎LC 広報PR委員長 L 櫻井 和男

奉仕の輪を広げ、環境美化に努める 神崎ライオンズクラブ



神崎LCでは、毎年アクティビティの最大の柱として「奉仕活動」「環境美化」を取り上げて、約40年にわたり努力してきました。

8月上旬の利根川沿いの町天の川公園の美化作業（草抜き・草刈）。10月8日のライオンズデー奉仕活動（町老人クラブ・女性の会の協力を得て行う町主要道路のゴミや空き缶拾い・カーブミラー清掃・神社周辺の清掃（約80名参加））。11月11日の秋の環境美化作業（プランター100、花壇にパンジー花苗植栽、町内各所へ配布）。

5月26日（予定）春の環境美化作業（プランター、花壇へサルビア・マリーゴールド500本植栽、町内各所へ配布。町内小中学校・保育所へ花苗約500鉢を直接配布）。

以上のような環境美化で成果をあげ、町民からも感謝されています。



7R1Z

銚子中央LC 会長 L 植草 博信

東総少年サッカー大会開催

青少年健全育成活動に邁進する銚子中央ライオンズクラブ（会長 植草博信）が『親睦第一・健康奉仕！』のスローガンのもと、「東総少年サッカー大会」が10月11日（月）と24日（日）銚子市の豊里台多目的スポーツ広場で開催された。

薬物乱用防止キャンペーンやレオクラブの育成など青少年健全育成に情熱を注ぐ同クラブが主催する同大会も今年で第21回目。高学年の部・低学年の部ともに12チームがエントリーし熱戦。ワールドカップさながらの好プレーも飛び出し、大会実行委員長 関根ライオンらクラブメンバーからも大きな拍手。

高学年の部は「波崎FC」が優勝、低学年の部は「海上FC」優勝、準優勝は銚子西JFCが輝いた。



7R1Z

小見川LC 会長 L太田 耕一郎

小見川中学校で中国音楽鑑賞会開催

2010年12月17日、小見川ライオンズクラブ主催の中国音楽鑑賞会を、香取市立小見川中学校体育館で開催しました。

ここ数年、東京都内及び関東エリアのクラブで活躍中のオールディーズ・カバーバンドでスカーフェイスプロジェクトというバンドのライブを開催していましたが、今年度は女子十二楽坊の師匠の先生クラスの四名の演奏家による、中国の古民族楽器による華麗な演奏を全校生徒六百数十名と保護者及び先生方に鑑賞して頂きました。

勉強と部活で忙しい毎日を過ごしている生徒の皆さんに、本物の音楽を体感して頂き日頃のストレスを少しでも解消する事が出来ればと続けているアクティビティです。

最後に、生徒の代表から「悠久の中国の歴史を感じることができました」とお礼の言葉を頂きました。

鑑賞会の模様はこちら

<http://omigawalc.jimdo.com/>



この投稿記事は2011年3月に開催予定であった、小見川ライオンズカップ中学生卓球大会が東関東大震災直後の為、中止となりましたので昨年12月の記事を投稿致します。

7R2Z

多古LC 幹事 L佐藤 公平

多古ライオンズクラブ旗争奪 近隣中学校駅伝大会

2011年1月30日(日)晴天にめぐまれ、あじさい広場にて多古ライオンズクラブ主催第51回近隣中学校駅伝大会開催、参加校、香取、海匠、山武、印旛郡市より20校、今年度より1・2年生男女混合チーム(男子3名女子3名)6区間、コース 多古町役場—あじさい広場—道の駅—栗山川—往復15.2km、開会式AM8:45、スタートAM9:30、盛大に挙行された。



ライオンズクラブ会員25名にて協力。午前11時30分閉会式、優勝した小見川中学校に多古ライオンズクラブ会長L富澤哲より優勝旗授与。

成績は次の通り 入賞6校

優 勝	小見川中	タイム	50分39秒
準優勝	山 田 中	タイム	52分29秒
3 位	佐 原 中	タイム	52分34秒
4 位	旭第二中	タイム	52分48秒
5 位	多 古 中	タイム	53分28秒
6 位	成 田 中	タイム	53分31秒



7R3Z

飯岡LC 会長 L宮内 保

旭市飯岡しおさいマラソコース
の清掃活動

2月5日(土)、新たな地域奉仕活動の一環としてマラソコースとなる海岸道路・保安林内の清掃作業を他の団体とともに実施いたしました。

これは、2月6日(日)に当クラブが後援しております第22回旭市飯岡しおさいマラソン大会開催にあわせて選手の安全と環境美化を目的として行ったものであります。

この大会は、太平洋の潮風を体を感じながら九十九里浜に沿うしおさいロードを親子・小中学生・一般の男女がレースごとに競いあうマラソンで、地元をはじめ県内外から3,000人余の選手が参加します。



作業は、午後1時より参加したクラブメンバーにより担当区域道路両側・保安林内をゴ

ミ、空き缶などを分別しながら拾い集めました。2時間かけて回収したゴミは、トラック2台分になりました。

今回初めての参加でありましたが、今後も、地域への奉仕活動としてクラブの継続事業として位置付け出来るよう会員一同で協議して行きたいと思います。



7R3Z

銚子ローヤルLC 会長 L坐古 きよ子

AEDの寄贈

2011年3月11日東日本大震災被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。

未来を背負う子供達の命を守ろう。一寸先の闇はないほうがよい、小さいけれど一寸先の光を作ろう、我々の活動の理念としています。

今回は市内の聖母保育園にAEDを寄贈しました、10月保育所に手渡しました。

園内の子供たちの明るい笑顔がいつまでも途切れないように願いたい。元気で明るい未来を創りだして下さい。



8R2Z

富津LC 幹事 L平野 寛明

富津中学校に柔道畳を寄贈

富津LCではこの度、CN45周年記念事業として、同市内の富津中学校に柔道畳123畳を寄贈した。これは同校武道場の柔道コート2面の内の半分であり、残りの半分は一昨年にやはり同数を寄贈している。



富津LCでは過去30年にわたり新春武道大会を主催しており、同校を会場とした柔道の部では、小中学生300名以上が参加する大規模な大会となっている。また、今般学習指導要領が改訂され、中学校では武道が必修化される事となった。そうした事情を鑑み、一部活動が使用するだけでなく幅広く生徒が柔道に打ち込むために設備の充実が必要との考えから、富津LCではメンバーの拠出や各種資金獲得アクティビティ等、地域企業にも幅広く篤志を呼びかけ、約180万円の資金を調達。このたび贈呈の運びとなった。



寄贈した畳は、軽量かつ耐久性に優れたクッションを畳床にした化成品畳で、サイズも今年より適用された国際規格に対応した物となっている。

同校は全中にも度々出場する柔道の強化校でもあり、今後より一層の飛躍をメンバー一同期待している。

9R1Z

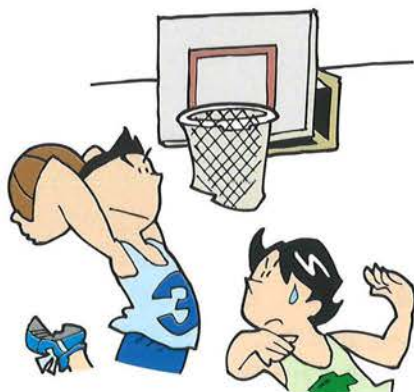
館山LC 大会実行委員長 L熊澤 伸

ミニバスケット大会

去るH22年10月23～24日両日に亘り館山ライオンズ主催に依る第28回館山LCカップ、ミニバスケットボール交歓大会を南房総市富浦体育館に於いて男女合わせて23チーム、選手総数301名参加のもと開催し、ライオンズ活動の中の最も大切とされる『青少年健全育成』のスローガンを掲げ、大会では澁刺としたる子供達の顔と、それを見守る両親の姿に開催の意義をしみじみ感じました。

参加選手は館山市のみならず近隣市町の小学生1年～6年の児童で普段優秀な選手しか参加できない色々な大会と異なり、低学年の無邪気な落ちたボールを奪い合うほほえましい姿も好感を得た2日間でした。

来年、再来年とこの行事を継続して益々盛り上がり人気のある大会に育てあげたいと思っています。



9R1Z

館山中央LC 会長 L野口 明行

クラブ活動報告

春の全国選抜優勝、インターハイ優勝、国体優勝と昨年前人未達の高校三冠に輝く地元安房高校剣道部。その国体では少年男子のみならず少年女子優勝、成年男子優勝、成年女子優勝と千葉県は完全制覇4冠！そんな剣道王国『館山』の少年剣士達に日ごろの成果を試せる育成の場を！と地元の協力をいただき毎年2月に当大会を実施しています。この大会が異色なのはレギュラー以外も全員が参加できる小学～高校の学年毎の個人戦だからです。年を追う毎に連覇を重ねる選手が現れるのもこの大会の魅力です。本年も33回大会に参加選手200名にて盛会に開催しました。初めに指導者の『日本剣道の形太刀』が披露され、学年毎に試合開始。試合前の選手も後の選手も他の学年の試合を応援し学びます。昨今は各道場の先生同士が大会終了後に謙虚に技を競い合う場にもなっており、館山剣道の伝統と奥深さを感じさせます。今後も継続開催し、地元少年剣士を支えていく所存です。



9R1Z

館山南LC 会長 L伊藤 領英

西岬小児童の絵 カンボジアに
さらに、教科書購入費用支援

館山南LC（伊藤領英会長）のメンバー3人と館山市立西岬小学校の教頭が同行し、2月10日から4日間の日程で現地を訪問し、プノンペン市のトルローカコッ小学校に、西岬小児童の絵や図工作品を届けた。カンボジアの児童らによる絵も持ち帰り、今年で7年目となる両校の「絵画交流」が続いている。

館山南LCは、教育環境が不十分なカンボジアの子供達を支援しようと、2001年にODA（政府開発援助）の「草の根無償資金」を受けて現地に小学校を建設。その後も交流を継続し、一昨年には今もなお教材や施設の不足に悩む同校のため、さらなる資金援助を行うことを決めていた。

今回の訪問では、いままで教科書がなく先生が黒板に書いたのをノートに書き写し教科書代わりに使っていたが、新たに教科書ができたのを知り、昨年12月にクリスマスプレゼントとして300人分の教科書購入資金を贈った。そこで、教科書を使った授業の視察もかねての訪問となった。（一部房日新聞より引用）



教科書と子供達



西岬小教頭と現地校長

9R2Z

夷隅LC 情報委員 L太田 芳輝

美しく癒しの「いすみ鉄道」で
心身のリフレッシュを!!

「シュッ シュッ ポッポ シュッ シュッ ポッポ」黒い煙をはきながら力づく走るSL列車。可愛いレールバス、ジゼル列車と沿線の人々の生活の足となり、大正、昭和、平成とみんなの思いと歴史を刻んで走り続けた「いすみ鉄道」はいま存続の危機が叫ばれています。

平素、学校の子供たちも駅舎を清掃していると聞いています。私たち夷隅ライオンズクラブのメンバーも地域の人たちと共に沿線の年2回の草刈りや菜の花の種まきなど力を合わせて奉仕活動をしています。今回も多くの方の参加を得て汗を流しました。

春には菜の花・桜など沿線は、それはそれは美しく彩られます。ローカル線ならではのゆったりとした走り、本当に癒されます。

終点の上総中野駅からほど近い養老溪谷温泉でひと風呂浴びたらいかがですか。身も心もリフレッシュ明日への英気を養ってください。寿命が延びること請け合いです。

そして又、ライオンズ活動に邁進しましょう。



いすみ鉄道



奉仕作業のメンバー

10R1Z

白子LC 会長 L三橋 昌好

白子さくらまつり開催

2月26日(土)、27日(日)と、白子町の中里、九十九里ビーチライン脇にて、白子さくら祭りが開催されました。白子ライオンズクラブも、お祭りの盛り上げ役にと、焼き芋、揚げ芋の販売をお手伝いさせていただきました。白子さくらは、河津桜を分けていただいたのが発祥とのことですが、県内でも特に早く咲く為、訪れたお客様には一足早い春の訪れを感じていただけたものとおもいます。当日は、両日ともに、お天気にも恵まれて、大勢の方にお越しいただくことができました。



肝心のお芋については、メンバーが畑で育て、保存したお芋を利用しており、またそれを焼き上げる、芋焼き機も、薪を熱源に石焼きができるようにメンバーが手作りで作った

ものです。お祭り当日だけではなく、長い期間をかけて準備などをおこなってきた結果として、訪れたお客様に喜んでいただけたのであれば、とてもうれしい限りであります。



幹事報告

2011年2月28日現在

キャピネット幹事 L 加島 正男

1. クラブ数及び会員数について

年 月 日	ク ラ ブ 数	会 員 数
2010年7月1日	135	3,511
2011年2月28日	137	3,633
増 減	+ 2	+122

2. クラブ活動状況について（2010年7月1日～2011年2月28日）

- (1) 金銭ＡＣＴ………… 1,475件 125,767,999円 1人当たり 34,618円
- (2) 労力ＡＣＴ………… 2,196件 74,169時間 1人当たり 20.42時間
- (3) 献血ＡＣＴ………… 391件 7,190,800cc（内成分献血 2,463人）
- (4) 献眼登録者数……… 47名（内会員 4名）
- (5) 献眼者…………… 6名（内会員 0名）（財）千葉県アイバンク協会報告による
- (6) 献腎登録者数……… 0名（内会員 0名）
- (7) ＬＣＩＦ…………… ＭＪＦ 100名 8,490,400円
その他の献金 2,901,237円

3. クラブＥＸＴについて（2010年7月1日～2011年6月30日までの予定）

(1) ライオンズクラブ

スポンサークラブ名	新クラブ名	結 成 式	チャーターナイト
市原ＬＣ	市原かずさＬＣ	2010年11月3日	2011年2月6日
君津ＬＣ	君津プラチナＬＣ	2011年2月19日	2011年5月15日
市川パインツリーＬＣ	市川フロンティアローズシニアＬＣ	2011年4月2日	2011年6月12日

(2) クラブ支部

親クラブ名	支 部 名	認 証 日
千葉花見川ＬＣ	千葉花見川北支部	2010年9月16日
市原ＬＣ	市原かずさ支部	2010年10月27日
南房総ＬＣ	南房総青年支部	2010年12月6日

4. レオクラブについて

年 月 日	ク ラ ブ 数	会 員 数
2010年7月1日	8	72
2011年2月28日	8	78
増 減	±0	+6

5. YCEについて

- (1) 2010～2011年度 冬期派遣生 1名 受入 5名
(2) 2010～2011年度 春期派遣生 0名 受入中止
(3) 2010～2011年度 夏期派遣生 10名 受入予定 未定

6. LCIF

LCIF強化のため会員1人当たり\$20以上の献金とMJF献金への協力を引き続き各クラブにお願いします。

7. キャビネット会議について

第3回 2011年2月20日(日) 千葉市・ホテルグリーンタワー千葉

第4回 2011年6月5日(日) 千葉市・ホテルグリーンタワー千葉

8. 地区ニュースについて

名 称:「地区ニュース」

発行部数:5,000部(第1回) 4,000部(第2回～第3回)

大 き さ: A4版

ページ数:32ページ

発行回数:年4回 第1回 2010年8月末日 第2回 2010年12月末日

第3回 2011年3月末日 第4回 2011年6月末日

配布対象:全会員

市町村及び出先機関等

9. 333-C地区第57回代議員総会について

1) 日 時:2011年5月8日(日)

2) 場 所:千葉市/ホテルグリーンタワー千葉

2010～2011年 国際会長アワード

【会長賞】

Ｌ竹下徳永（市原南ＬＣ）

【リーダーシップアワード】

Ｌ加島正男（市原南ＬＣ）

Ｌ星野鴻一（市原南ＬＣ）

【感謝状】

Ｌ杉沢秀一（市川ＬＣ）

Ｌ根本一男（松戸南ＬＣ）

Ｌ小田部光子（柏なの花ＬＣ）

Ｌ志村光永（船橋ＬＣ）

Ｌ矢崎勝彦（習志野中央ＬＣ）

Ｌ岩沼忠伺（千葉ネオＬＣ）

Ｌ山本真巳（八街グリーンＬＣ）

Ｌ池田忠宏（佐原ＬＣ）

Ｌ栗田秀美（木更津ＬＣ）

Ｌ早川金光（房州朝夷ＬＣ）

Ｌ渡邊正雄（茂原中央ＬＣ）



2010～2011年 年次大会アワード

【最優秀クラブ賞（金賞）】

◎船橋京葉LC ◎船橋さざんかLC ◎市原LC ◎富津LC ◎君津LC

【最優秀クラブ賞（銀賞）】

◎船橋LC ◎船橋中央LC ◎市原南LC ◎市原さくらLC ◎南房総LC

【リジョン優秀賞】

◎行徳ベイLC ◎松戸みどりLC ◎柏なの花LC ◎船橋東LC ◎八千代東LC
◎市原東LC ◎成田LC ◎光LC ◎木更津LC ◎館山中央LC ◎東金LC

【ゾーン優秀賞】

◎市川北LC ◎浦安LC ◎松戸中央LC ◎野田LC ◎柏レインボーLC
◎柏オークLC ◎船橋グリーンLC ◎船橋シニアLC ◎白井あすなろLC
◎習志野LC ◎千葉中央LC ◎千葉ゆうきのLC ◎市原コスモスLC ◎栄町LC
◎八街LC ◎四街道LC ◎東庄LC ◎八日市場LC ◎飯岡LC ◎木更津中央LC
◎君津中央LC ◎館山南LC ◎鴨川LC ◎茂原中央LC ◎大網白里LC

【EXT大賞】

◎柏中央LC ◎白井LC ◎市原LC ◎君津LC

【会員増強最優秀賞】

◎船橋LC ◎市原LC ◎市原南LC ◎市原さくらLC ◎南房総LC

【LCIF優秀賞金賞】

◎松戸LC ◎野田LC ◎習志野LC ◎光LC ◎千葉九十九里ひまわりLC

【青少年健全育成ACT優秀賞】

◎柏みどりLC ◎柏沼南LC

【献眼ACT優秀賞】

◎浦安シーサイドLC ◎船橋北LC ◎成田LC ◎鴨川LC

【献血ACT優秀賞】

◎船橋京葉LC ◎船橋シニアLC ◎千葉花見川LC ◎市原コスモスLC ◎富津LC

【YCE・ACT優秀賞】

◎松戸中央LC ◎柏レインボーLC ◎柏中央LC ◎柏なの花LC ◎鎌ヶ谷飛翔LC
◎佐原LC ◎千葉九十九里ひまわりLC

【ライオンズクエスト優秀賞】

◎成田LC

【LEO優秀賞】

◎銚子中央LC

【視聴力保護ACT優秀賞】

◎市川LC ◎松戸みどりLC ◎印西LC ◎船橋LC ◎船橋中央LC ◎佐原LC
◎茂原中央LC ◎千葉九十九里ひまわりLC

2010～2011年 年次大会アワード

[環境保全(緑化)ACT優秀賞]

◎市川パインツリーLC ◎船橋LC ◎木更津中央LC ◎鴨川LC

[世界平和ACT優秀賞]

◎酒々井LC ◎八日市場LC

[若獅子賞]

◎柏創生LC

[ガバナー特別アワード]

◎L杉沢 秀一(市川LC)	◎L根本 一男(松戸南LC)
◎L小田部光子(柏なの花LC)	◎L志村 光永(船橋LC)
◎L矢崎 勝彦(習志野中央LC)	◎L岩沼 忠伺(千葉ネオLC)
◎L山本 真巳(八街グリーンLC)	◎L池田 忠宏(佐原LC)
◎L栗田 秀美(木更津LC)	◎L早川 金光(房州朝夷LC)
◎L渡邊 正雄(茂原中央LC)	
◎L矢吹 善二(市川LC)	◎L渡辺好司郎(浦安中央LC)
◎L高橋 福夫(松戸グリーンLC)	◎L船橋 繁雄(関宿LC)
◎L仙田 秀一(柏LC)	◎L辻 松夫(柏グリーンLC)
◎L足立 信吉(船橋グリーンLC)	◎L小田原隆泰(船橋京葉LC)
◎L高城 靖雄(白井LC)	◎L海老原健治(習志野LC)
◎L相原 辰雄(千葉中央LC)	◎L関根 政子(千葉ゆうきのLC)
◎L丸 勇治(市原コスモスLC)	◎L村木 義彦(富里LC)
◎L高山 照駿(八街LC)	◎L斉藤 耀一(四街道ユーアイLC)
◎L砂村 一男(銚子中央LC)	◎L鈴木 勲(八日市場LC)
◎L鈴木 逸三(旭LC)	◎L斎藤 和行(木更津中央LC)
◎L栗原 政夫(君津LC)	◎L松本 宰史(南房総LC)
◎L四宮 英爾(鴨川LC)	◎L磯部 純一(茂原長生LC)
◎L井深 敏和(東金LC)	

[単県独立30周年記念論文アワード]

最優秀賞 L松本 宰史(南房総LC)
優秀賞 L平山 佐吉(成田LC)
優良賞 L青木 孝(松戸東LC)
L正木 守(君津LC)
入選 L皆川 春安(流山LC)
L吉田 隆雄(柏LC)
L内山 敦子(船橋LC)
L鈴木 利一(船橋中央LC)
L田中 稔(船橋シニアLC)
L西村 和男(市原LC)
L斎藤 義雄(市原南LC)
L中川 都弘(上総一宮LC)

MJ F 名簿

2010年7月～2011年2月末日 MR報告による

R	Z	クラブ名	MJ F 名	() 内は回数
1	2	浦 安	古河 守男(12)	
		浦安シーサイド	岐部 武(1)	
		浦 安 中 央	榎本敬三郎(1) 岡島 誠次(1)	
2	1	松 戸	飯塚平八郎(4) 湯浅 昌勝(3)	
		松 戸 中 央	荒井 明男(7) 岩橋 明(5) 甲斐十二月(9) 早見 憲一(10)	
		松戸ユーカリ	杉浦 正八(4)	
		松戸グリーン	高橋 福夫(2) 高橋 順之(1)	
		松 戸 み ど り	宋 如芳(5) 中島 貞江(1)	
		流 山	木村 喜久(2) 皆川 春安(15)	
	2	松 戸 東	小暮 勝正(6)	
		野 田	浦邊 静志(2) 高木 次雄(7) 中山 敏夫(6) 平井 正一(1)	
			吉岡 稔隆(7)	
3	1	柏	仙田 秀一(9)	
		柏 中 央	根本 静男(16)	
	2	柏 グ リ ー ン	辻 松夫(8) 佐々木光郎(2)	
		柏 な の 花	長澤千鶴子(8) 吉野みどり(4)	
4 A	1	船 橋 中 央	鈴木 利一(13) 藤原 宏高(10)	
	2	船橋さざんか	青木 明子(5) 宇呂弥栄子(2)	
		船 橋 シ ニ ア	阿部 文男(1)	
4 B	2	習 志 野	吉田 政勝(26) 海老原健治(2～11)	
		八 千 代	金井 一夫(5)	
5	1	千 葉	岡野 正義(18) 臼井 一世(4) 清水 義雄(21)	
		千 葉 花 見 川	林 彰子(5)	
		千 葉 ゆ う き の	波木 奏美(7)	
	3	市 原	大森 正昭(9) 倉永 富男(2) 西村 和男(3) 古川 勇(4)	
			宮原 秀行(5) 山村 信一(1)	
		市 原 南	竹下 徳永(8)	
		市 原 さ く ら	平野美代子(2) 鈴木 諒子(1)	
	1	成田グリーン	根本 満(4) 平尾 宏昭(2) 山下大二郎(1)	
		成田エアポート	林 一智(4) 星 弘光(4)	
6	2	佐 倉	塚田 雅二(10)	
	3	四 街 道 中 央	梶 静夫(1)	
		四 街 道 順 天	田島 光(2)	
7	1	佐 原	池田 忠宏(4) 石田 泰紀(6) 小林 利弘(8) 佐藤 公彦(1) 松本 賢治(1)	
			杉山 禎胤(6) 長島 彪(15) 原田 隆司(2) 増田 勲(5)	
		銚 子 中 央	砂村 一男(6) 齊藤 真一(1)	
	2	総 武 中 央	石崎 勲(1)	
		光	大木 弘之(1) 椎名 章博(4) 椎名 重基(3) 椎名 英夫(16～17)	
			鈴木 唯夫(1) 橋浦 芳朗(6) 林 政利(2)	
		旭	伊東 諒(4) 伊藤 嘉伸(1) 金谷 修一(2) 木内 善博(2)	
			鈴木 逸三(2)	
	3	飯 岡	石毛 昭夫(1)	
		山 田 町	越川 忍(23) 林 要助(3)	
		海 上	浪川 修一(1)	
		銚子ローヤル	大塚 文雄(8)	
8	2	君 津	正木 守(4)	
9	2	鴨 川	丸 淳一(18)	

物故ライオン芳名

2010.3.23～2011.4.18

年 月 日	芳 名	所属LC	R・Z
2010年 3月 23日	L 石 津 マリ子	船 橋 ア ー ト マ ン	4-BR 1Z
5月 20日	L 白 鳥 重 雄	多 古	7R 2Z
5月 21日	L 宮 崎 宗治郎	行 徳	1R 2Z
6月 2日	L 永 松 頼 男	白 井	4-BR 1Z
6月 24日	L 國 藤 正 聡	茂 原	10R 1Z
6月 26日	L 大 谷 孝 一	千 葉 若 潮	5R 2Z
7月 11日	L 鳥羽田 宗 久	成 田	6R 1Z
7月 12日	L 板 倉 芳 郎	大 網 白 里	10R 2Z
7月 25日	L 宮 沢 政 人	銚 子 中 央	7R 1Z
7月 26日	L 石 橋 寿 三	松 戸 中 央	2R 1Z
8月 11日	L 杉 浦 明	君 津	8R 2Z
8月 13日	L 中 村 正	野 田	2R 2Z
8月 21日	L 紫 関 秀 男	房 総 勝 浦	9R 2Z
9月 23日	L 石 田 健 二	総 武 中 央	7R 2Z
9月 30日	L 古 藤 秀 樹	四 街 道 ユ ー ア イ	6R 3Z
10月 26日	L 中 島 忠 一	上 総 一 宮	10R 1Z
10月 26日	L 鈴 木 千恵子	袖 ケ 浦	8R 1Z
11月 3日	L 齋 藤 徳 一	佐 原	7R 1Z
11月 13日	L 岡 部 孝 雄	柏	3R 1Z
11月 23日	L 長谷川 高 司	八 街 グ リ ー ン	6R 2Z
11月 28日	L 三 浦 健 一	銚 子	7R 1Z
12月 1日	L 高 島 一 芳	市 川	1R 1Z
12月 8日	L 高 橋 豊	千 葉 ポ ー ト	5R 2Z
2011年 1月 7日	L 伊 藤 栄 二	成 田	6R 1Z
1月 28日	L 平 田 勇	浦 安 シ ー サ イ ド	1R 2Z
1月 29日	L 菊 間 芳 子	上 総	8R 2Z
2月 4日	L 加 藤 富次郎	松 戸	2R 1Z
2月 14日	L 山 本 孝	山 武	10R 2Z
3月 6日	L 郷 定 男	銚 子 中 央	7R 1Z
3月 8日	L 平 山 譲	多 古	7R 2Z
3月 15日	L 長 嶋 敏 晴	千 葉 京 葉	5R 2Z
3月 28日	L 青 柳 久 子	市 原 グ リ ー ン	5R 3Z
4月 11日	L 竹 内 宣 之	船 橋 ポ ー ト	4-AR 1Z
4月 18日	L 遠 江 通 憲	船 橋 中 央	4-AR 1Z
4月 18日	L 工 藤 政 夫	大 網 白 里	10R 2Z

地区ガバナー感謝状

(申請受付 2010.5.21～2011.4.20)

下記の方へお贈り致しました。

1) 規定A-①に該当する方(物故)

ク ラ ブ 名	L 名	在籍年数	年 齢	備 考
多 古	L 白 鳥 重 雄	41	74	CM
白 井	L 永 松 頼 男	19	72	CM
茂 原	L 國 藤 正 聰	47	92	CM
千 葉 若 潮	L 大 谷 孝 一	24	79	
成 田	L 鳥羽田 宗 久	21	59	
大 網 白 里	L 板 倉 芳 郎	32	79	CM
野 田	L 中 村 正	28	80	CM
君 津	L 杉 浦 明	43	86	CM
房 総 勝 浦	L 紫 関 秀 男	32	72	
総 武 中 央	L 石 田 健 二	27	74	
上 総 一 宮	L 中 島 忠 一	45	82	CM
銚 子	L 三 浦 健 一	29	66	
市 川	L 高 島 一 芳	42	88	
千 葉 ポ ー ト	L 高 橋 豊	18	74	
成 田	L 伊 藤 栄 二	29	79	
上 総	L 菊 間 芳 子	18	77	
松 戸	L 加 藤 富次郎	47	82	CM
銚 子 中 央	L 郷 定 男	46	85	CM
多 古	L 平 山 讓	43	79	CM
船 橋 中 央	L 遠 江 通 憲	18	71	

2) 規定A-③に該当する方(退会)

クラブ名	L 名	在籍年数	備 考
習 志 野	L 田久保 守	26	

期首からの会員動静

2011年5月度

2010年7月～2011年5月			入会			退会				
R	Z	期首	転入	再入	新入	転出	死亡	退会	5月末	増減
1R	1Z	95	0	1	30	0	1	5	120	25
	2Z	159	1	0	14	0	1	9	164	5
R合計		254	1	1	44	0	2	14	284	30
2R	1Z	145	0	0	10	0	2	8	145	0
	2Z	132	0	0	5	0	1	9	127	-5
R合計		277	0	0	15	0	3	17	272	-5
3R	1Z	110	0	0	18	0	1	3	124	14
	2Z	195	0	0	14	0	0	8	201	6
R合計		305	0	0	32	0	1	11	325	20
4-AR	1Z	133	0	1	18	0	2	2	148	15
	2Z	102	0	0	14	0	0	6	110	8
R合計		235	0	1	32	0	2	8	258	23
4-BR	1Z	165	0	0	30	0	0	19	176	11
	2Z	113	0	0	7	0	1	4	115	2
R合計		278	0	0	37	0	1	23	291	13
5R	1Z	189	0	0	23	0	0	13	199	10
	2Z	100	0	0	2	0	3	6	93	-7
	3Z	148	12	1	77	12	1	9	216	68
R合計		437	12	1	102	12	4	28	508	71
6R	1Z	247	0	1	12	0	2	16	242	-5
	2Z	112	0	0	4	0	1	3	112	0
	3Z	94	0	0	3	0	1	5	91	-3
R合計		453	0	1	19	0	4	24	445	-8
7R	1Z	219	0	0	11	0	4	6	220	1
	2Z	174	0	0	5	0	2	10	167	-7
	3Z	233	0	0	7	0	1	8	231	-2
R合計		626	0	0	23	0	7	24	618	-8
8R	1Z	80	0	0	7	0	1	9	77	-3
	2Z	157	21	0	17	22	2	4	167	10
R合計		237	21	0	24	22	3	13	244	7
9R	1Z	64	0	0	14	0	0	5	73	9
	2Z	135	3	0	10	1	1	8	138	3
R合計		199	3	0	24	1	1	13	211	12
10R	1Z	106	0	0	4	0	1	13	96	-10
	2Z	104	0	0	5	0	3	17	89	-15
R合計		210	0	0	9	0	4	30	185	-25
地区合計		3,511	37	4	361	35	32	205	3,641	130

編集後記

編集会議風景



委員長
深山 孝子



副委員長
高橋 昌男



副委員長
平野美代子



副委員長
笠原せつ子



1 R
小川 一男



2 R
南場 賢



3 R
鍋木香代子



4-AR
石橋 和雄



4-BR
佐藤 錦也



5 R
菅家 潤



6 R
平山 俊彦



7 R
杉山 禎胤



8 R
金田 昌樹



9 R
石井 正明



10 R
大和久徳造



編集委員
竹下 怜子

委員長 L 深山 孝子

地区PR・情報委員長として、一年間各Rの委員の方々・副委員長・編集委員の皆様に助けられ、無事地区ニュース第4号の発行にこぎつける事が出来ました。友愛と寛容の精神で結びつけられている各ライオンズクラブの活動の様子を333-C地区の会員の皆様にお伝え出来たことと思っております。

しかし、これだけの記事を集めるということは、それぞれクラブにもいろいろな事情があり、本当に大変なことで、役員の方々にはご苦労をおかけしました。

一年間、新しい勉強をさせて頂きました。これからも無理をせずライオンズ活動をがんばって行こうと思っております。

副委員長 L 高橋 昌男 初めてのPR情報委員

地区ニュース作成がメインのPR情報委員会！

今期委員として高校野球決勝戦の撮影の為に球場へ行った事が一番の思い出になりました。

国際大会、オセアルフォーラムは毎年参加させていただいていますがライオンズ以外の撮影は初体験でした。写真撮影しか趣味の無い私ですが1年間お世話になりました。

副委員長 L 平野美代子

地区PR情報委員をお引き受けして、あっという間の一年でした。

この度の大震災で被災されたクラブもありましたが、その中での最終号の原稿提出に協力して頂き有難うございました。

編集に携わった全てのメンバーに感謝申し上げます。

副委員長 L 笠原せつ子

いい出会いが有り、色々な事が吸収できて、とても有意義な一年間でした。

PR・情報委員の皆様、大変お世話になりありがとうございました。

また帰ってきてね!!

— サケの稚魚放流 —



松戸中央
ライオンズクラブ
恒例の行事

「江戸川にてサケの
稚魚放流会」

がんばれさけ!

松戸市立松ヶ丘小学校 山下 真之介

さけが大きくなるまでを勉強して、僕はさけはすごい魚だと思いました。

川で、たまごをうむことも、生まれた赤ちゃんが海へもどることも、とても大へんなことです。

そのさけのたまごをぼくがそだてることにわくわくしました。

生まれた赤ちゃんは、おなかの赤いふくろをゆらしながら、元気におよぎます。

顔もつよそうで、とてもすばしっこくて、お水をかえる時は、大へんでした。

このさけと、おわかれして、ほうりゅうするの、ちよつとさみしいけど、

「ぜったい、さめやあざらしに食べられないでもどってこいよ」

と言いたいです。

ぼくはもどってきてくれるように、川をよごさないようにしてまっています。

サケの成長

松戸市立小金中学校 三好 拓己

僕たちはこの冬、科学部全員でサケの観察をしていた。今日を迎えるまでには、長い道のりがあった。科学部全員で卵の様子をじっくりと観察し、「サケの観察記録ノート」にまとめた。僕たちは、その成長を確かめては喜んだ。

僕らの学校にサケの卵がやってきてから一か月後、とうとう卵からかえった時には、水槽を開き、全員で喜んだ。彼らは栄養袋が重すぎて下に向かってしか泳げず、下の隅に群れているのを見ては少し心配もした。栄養袋がなくなり、自由に動けるようになると餌をやり始めた。餌を一心に食べる姿はかわいくて、何かとうれしくなった。

今ではかなりの大きさに成長した。振り返れば二・三ヶ月の付き合いだったが、その中でサケとつながっていた。

今日放流するサケたちが、将来、江戸川に戻ってきて、この川で子孫を残すのを願うばかりだ。



嫁入り船水郷を往く



撮影：佐原 L C L 宮本義張

- 発行日 2011年6月20日
- 発行人 地区ガバナー 竹下 徳永
- 編集人 地区PR・情報委員長 深山 孝子
- 発行 ライオンズクラブ国際協会 333-C地区
〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-2
千葉県中小企業会館2階
(tel 043-243-2528 fax 043-247-4756)
- 印刷所 株式会社みつわ
〒261-0002 千葉市美浜区新港213-5